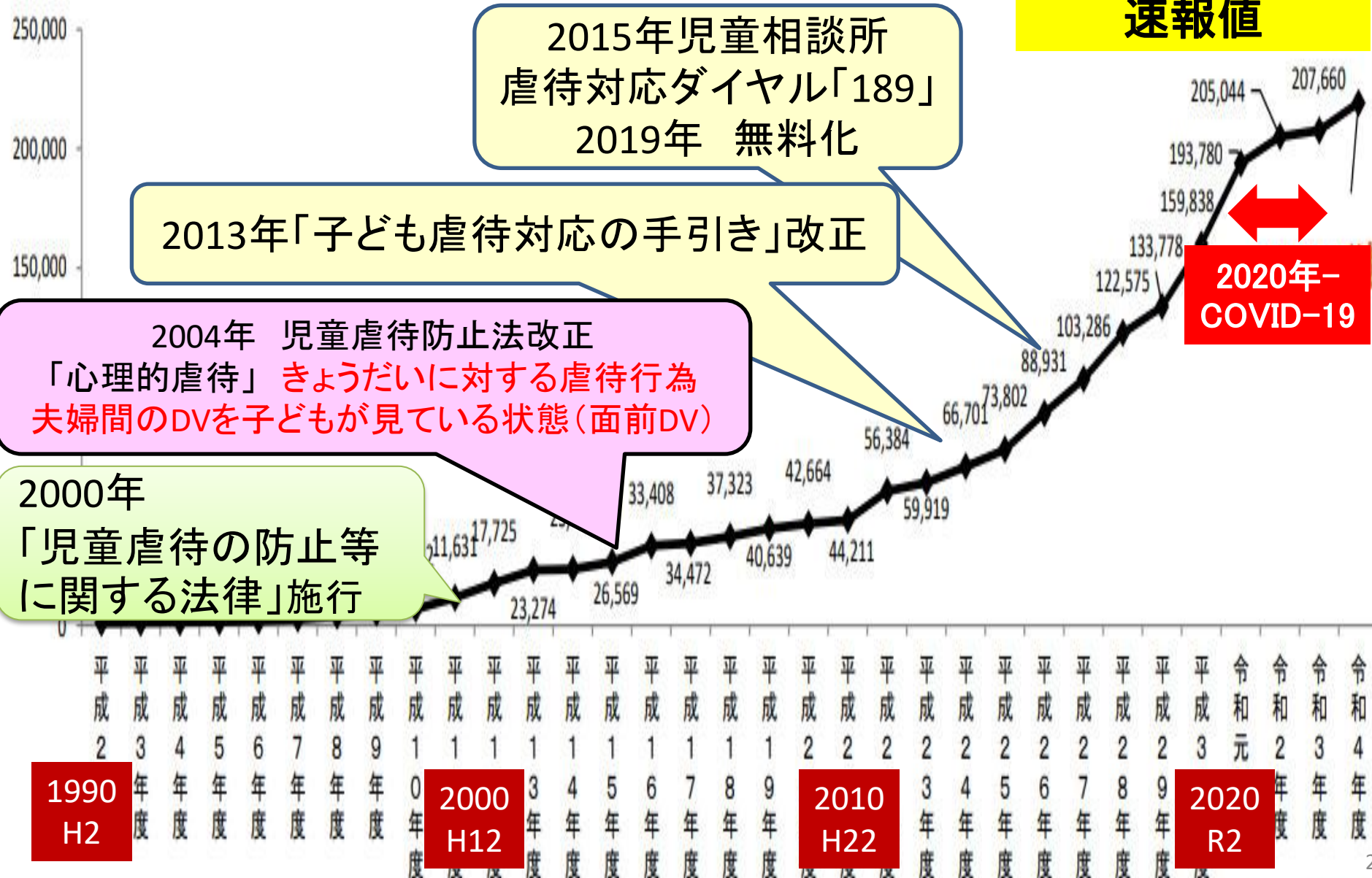


# 「妊娠中からの気になる母子支援」 連絡システム（岡山モデル） による虐待防止

岡山県産婦人科医会  
おかやま妊娠・出産サポートセンター  
岡山大学学術研究院保健学域  
中塚幹也

# 児童虐待相談対応件数(全国)

**21万9170件**  
2022年度  
速報値



1990  
H2

2000  
H12

2010  
H22

2020  
R2

## 2022年度

心中以外の虐待死 50例・50人

0歳児 24人(48.0%)

月齢0か月 6人(0歳児の25.0%)

主たる加害者「実母」…20人(40.0%)

身体的虐待 ……21人(42.0%)

ネグレクト…14人(28.0%)

予期しない妊娠…16人(32.0%)

健診未受診 ……14人(28.0%)

低体重(2500g未満)…14人(28.0%)

心中による虐待死(未遂も含む) 18例・24人 3

**子育て支援は産後では遅い**

**妊娠中からの子育て支援**

岡山県で

「妊娠中からの気になる母子支援」  
連絡システム（岡山モデル）  
が構築されるまで

2007年～

医療スタッフの意識を変える

医療スタッフの知識を蓄える

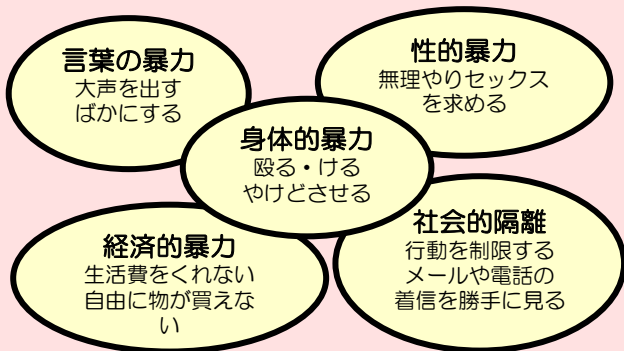
# 妊娠中のドメスティック・バイオレンス（DV）を知っていますか？



～母親だけでなく、生まれてくる赤ちゃんへの影響も心配されます～

DVという、女性の場合、恋人や夫から受ける暴力ですが、妊娠中に増加すると報告されています。あなたの身の回りでも、気づかないうちに起きていることがあります。

つらいと思うことはありませんか？次のようなことに心当たりはありませんか？



☆裏面に、詳しい内容があります。

さらに、妊娠している場合は、あなただけでなく、**赤ちゃんへの影響もあります。**

お腹への直接的暴力などで、赤ちゃんがけがをするのはもちろんですが、母体が受けた暴力やストレスにより、胎児の成長の遅れ（低出生体重児）、切迫産産や早産などの形であられます。



妊娠中は、あなた自身だけでなく、赤ちゃんを守るためにも、考える必要があります。

「今すぐその場から逃げ出したい…」

でも、ちょっと待って!! 急にあなたが飛び出しても、さがし出されて、安全や生活が確保できない可能性があります。まずは、このパンフレットを読んで、安全を確保する方法を見つけてから、今の状況からの脱出を試みましょう。

## あなたは大丈夫？チェックしてみましょう。

1	あなたとパートナーの間で、めごとが起こったとき、話しあいでも解決するのは難しいですか？	よくある	たまにある	まったくない
2	あなたは、パートナーのやることや言うことを怖いと感じることはありますか？	よくある	たまにある	まったくない
3	あなたのパートナーは、気に入らないことがあるとあなたを大きな声で怒鳴ったりすることがありますか？	よくある	たまにある	まったくない
4	あなたのパートナーは、気に入らないことがあると怒って壁をたたいたり、物を投げたりすることがありますか？	よくある	たまにある	まったくない
5	あなたは、気が進まないのにパートナーから性的な行為を強いられることがありますか？	よくある	たまにある	まったくない
6	あなたのパートナーは、あなたをたたき、強く押す、腕をぐいと引っ張るなど強引にふるまうことがありますか？	よくある	たまにある	まったくない
7	あなたのパートナーは、あなたを殴る、けるなどの暴力をふるうことがありますか？	よくある	たまにある	まったくない

### 女性に対する暴力(DV)スクリーニング尺度 (片岡)

☆1～7のうち、2つ以上「たまにある」、または、「よくある」があればDVを受けていると判定されます。

もし、DVと判定されても、あなたは何も悪くありません。あなたは被害者なのです。

## DVに関するQ&A「彼を信じている？」



**Q1: 彼はケンカの後には、いつも謝り、「もう二度としない。」と言います。私は大切にされていると思いますか…**

A1: 「暴力を振るうのも、私のことを愛しているからだ。」  
「いつか変わってくれるのでは」と思っていますか？  
残念ながら、彼は自己中心的で、あなたを本当に大切にしているのではありません。いつまでたっても彼の本質は変わりません。DVはあなたの妊娠中ずっと続き、さらにエスカレートしていきます。

**Q2: 子どもが生まれてから、彼も変わってくれるのでは…**

A2: いいえ、子どもがDVの犠牲者になる可能性があります。彼は、あなたの愛情が子どもに向かい、自分へ向けられないことで、さらにイライラします。日常的に子どもが、あなたと彼のケンカを見ることで、将来、その子の心もDVの影響を受けます。

**Q3: 働いていないのでお金がありません。別れることもできません。私さえ我慢すればよいのでは…**

A3: 助けてくれる人がいます。もう我慢しなくていいのです。我慢して彼と一緒にいたら、あなたと子どもの人生が失われる可能性があります。

20人に1人の女性が「生命の危険」を感じる暴力を経験していると報告されています。まずは勇気をだして、その場から抜け出すことが大切です。

**Q4: 誰にも相談できない。逃げられない。「逃げたら殺す」と脅かされています…**

A4: まずは身近な人（親や友人）に話してみてください。それでも解決できない場合には、裏面の相談窓口（配偶者暴力相談支援センター・警察など）に連絡してください。

**あなたと子どもの命を守ってください。**

このパンフレットを家に持ち帰れない、命の危険を感じている場合は、下のカードを切り取ってお持ち帰りください。  
(親子手帳など安全な場所に保管してください。)

**ポケットガイド 困ったことがあればこちらへ相談してください**

**岡山県女性相談所** 086-235-6060 月～金 9:00-16:30  
**ウィズセンター** 086-235-3310 火～土 9:30-16:30  
**相談ほっとライン** 086-803-3366 水～月 10:00-19:30  
日・祝日 10:00-16:30

**さんかくナビ(DV休日電話相談)** 086-227-1002  
日・祝日・年末年始 9:30-16:30

### 逃げるプランを考える

- どこに逃げるのが安全か（子どもと一緒にでも行ける場所）
- 相手に気づかれないように、事前に持って行く物を集める。（現金・鍵・免許・携帯・大切な電話番号など）

**暴力を受けた時、緊急時は逃げる。すぐに、警察110番!**

- 逃げる（物を持つより、あなたの身体だけでも守って）
- 警察（110番）へ電話して、「夫（彼）から暴力を受けました。助けてください」と訴える。



# 産後うつ病を予防するために

## あなたにできること

- ・妊婦健診で産科スタッフに相談しましょう。
- ・家族に自分の気持ちを話してみよう。
- ・一人で頑張りすぎないで、ちょっと一休みしよう。

## 家族にできること

- ・悩みを受け止めてあげてください。
- ・産科のスタッフに伝えて下さい。
- ・家事や育児を手伝ってあげてください。

相談

## 産科では・・・

- ・妊娠中、あなたの話を聞き、見守ります。
- ・あなたの周りに理解者を作ります。
- ・産後も話を聞いてくれる方をご紹介します。

うつ状態が続く場合

## 専門家に相談

- ・家族と一緒に相談に行ってみましょう。
- ・症状を和らげるために、カウンセリングや薬などの治療を受けてみましょう。

ひとりで悩まないで！  
誰かに相談してみてください。

あなたの思いが「お母さん」は、どのようなイメージですか？でも、最初からちゃんとイメージ通りにならないのが普通です。それよりも、あなたが一人の女性として、心も身体もイキイキとしていることを、みんなが願っています。一人で悩まずにぜひご相談ください。

## 相談窓口

まず、お産をされた病院で、医師、助産師、看護師などに、気軽に相談してみよう。

各地の保健所や保健センターでも「こころの健康相談」を実施しています。

- 岡山市  
岡山市保健所 086-803-1200  
〒700-0914 岡山市北区鹿田町1-1-1
- 倉敷市  
倉敷保健所 086-434-9800  
〒710-0834 倉敷市笹沖170
- 玉野市・瀬戸内市・吉備中央町  
備前保健所 086-272-3950  
〒703-8278 岡山市中区古京町1-1-17
- 備前市・赤磐市・和気町  
備前保健所東備支所 0869-92-5179  
〒709-0451 和気郡和気町和気487-2
- 総社市・早島町  
備中保健所 086-434-7025  
〒710-0043 倉敷市羽島1083
- 笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町  
備中保健所井笠支所 0865-69-1675  
〒714-0087 笠岡市六番町2-5
- 高梁市  
備北保健所 0866-21-2836  
〒716-0062 高梁市落合町近似286-1
- 新見市  
備北保健所新見支所 0867-72-5691  
〒718-0003 新見市高尾2400
- 真庭市・新庄町  
真庭保健所 0867-44-2991  
〒717-0013 真庭市勝山591
- 津山市・鏡野町・久米南町・美咲町  
美作保健所 0868-23-0148  
〒708-0051 津山市椿高下114
- 美作市・勝英町・奈義町・西栗倉村  
美作保健所勝英支所 0868-73-4055  
〒707-0004 美作市入田291-2

# お母さんが 楽しく育児を するために

## 産後のこころの話



## 岡山いきいき子育て応援事業

日本産婦人科医会岡山県支部

制作：岡山大学大学院保健学研究科  
「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム  
助産ネット

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>

岡山県不妊専門相談センター  
「不妊・不育とこころの相談室」



# すくすく育つ赤ちゃん

## 生後0ヶ月から6ヶ月

生後3ヶ月ごろまでの赤ちゃんは、動くものを目で追ったり、声の聞こえる方に向いたり、五感が発達していきます。しっかりと声をかけてあやしてあげてくださいね。4ヶ月から6ヶ月の赤ちゃんは首がすわり寝返りをはじめます。手にふれたものを口へ持っていったり、あやすと声を出して笑ったりします。“イナイ・イナイ・パー”が、大好きです。



## 生後7ヶ月から11ヶ月

生後7ヶ月から8ヶ月の赤ちゃんはおすわりが少しできるようになり、はいはいも出来るようになります。この頃から人見知りが始まります。9ヶ月から11ヶ月の赤ちゃんは、つかまり立ちをはじめたりします。自分の名前に反応をしたり、“マンマ”などの言葉の真似をはじめたりします。



## 生後12ヶ月から2歳

生後1年ぐらいで、つたい歩きをしはじめて、次第に一人で歩けるようになります。1歳半頃には、“ママ・パパ”などの意味のある言葉を話すようになります。1歳半から2歳頃には、積木ができるようになり、好きな遊びに夢中になることもあります。



発達には個人差があります。その子なりのペースで発達していきます。気になることがある時には、定期健診で相談してみてくださいね。

### 母乳はすぐれもの!

**母** 乳栄養は、いつも新鮮で栄養もあり赤ちゃんを病気からも守る力があります。そして、赤ちゃんのあごの発達やかむ力もつきます。何よりもお母さんとのスキンシップができます。また、産後の回復を早めることなどもあるというすぐれものです。

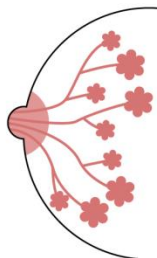
大切な赤ちゃんのためです。注意しましょう!

#### 授乳中は

お薬を飲むときは  
医師に相談しましょう

アルコールは  
母乳に移行します  
お酒はひかえましょう

たばこを  
吸わないようにしましょう



### 赤ちゃんを守りましょう!

**赤** ちゃんは、毎日いろいろなことができるようになります。突然思いがけない事がおきることもあります。発達段階を知っておくことも大切ですね。



✕ 熱い飲み物やアイロンやストーブ、お風呂場への転落によるやけど

✕ たばこの誤飲や、副流煙を吸うことによる、乳幼児突然死症候群

✕ ボタンやコインなどを飲み込んでしまう事故

もしも赤ちゃんが、煙草、薬、洗剤など何かを飲み込んでしまったら…

■大阪中毒110番(24時間)  
☎072-727-2499

■つくば中毒110番(9時~21時)  
☎072-726-9922

**注意**  
直径39mm  
(原寸大)

この円より小さいものは  
赤ちゃんが飲み込む  
危険がありますので  
注意しましょう

### ママの自分らしさを大切に!

**子** 育てには、ママの健康と元気が必要です。リラックスをしたい時や一人で外出したいときは、信頼のおける人に赤ちゃんを見てもらいましょう。赤ちゃんを一人にしないでくださいね。

#### 赤ちゃんが泣くのは…

大好きなママに甘えたい時

抱っこしてほしい時

おなかがすいた時

暑い時や寒い時など

赤ちゃんからはいろいろなメッセージがあります。はじめはお母さんも疲れるかもしれません。でも…寝顔を見るときがかわいいですね。



医療スタッフの意識を変える

医療スタッフの知識を蓄える

連絡のハードルを下げる

# 産科から

行政・地域保健からの支援へ向けた連携  
ハイリスク妊産婦連絡票（同意と個人情報）



## 診療情報提供書

(ハイリスク妊産婦連絡票)

市町村長 殿

平成 年 月 日

医療機関名

住 所

Tel

Fax

科、主治医

印

今後の支援をお願いします。本書の送付については本人の了解を得ております。

患者 (妊産婦) の 氏名	ふりがな 氏名 年 月 日生 歳	家族 構成 (養育 環境)	(同居家族についての家系図 分かる範囲で) 夫(氏名: 年齢: 職業: ) 育児の協力者: 無・有( )
	職業( ) 初産・経産 妊娠歴( ) * 初診日 平成 年 月 日 週 初診日の妊娠週数( ) 単胎・多胎 分娩予定日(平成 年 月 日) 既婚・未婚		
住所 退院先 居場所	(里帰り 出産等の場合の連絡先) Tel:		
傷病名	(疑いを含む)		
入院日	入院日:平成 年 月 日 退院(予定日):平成 年 月 日		
病状・ 妊娠中 の状況 既往歴 治療歴	合併症:無・有( ) 妊娠中の異常:無・有( ) 定期健診の受診状況:定期受診・不定期・受診せず 分娩への不安:普通・やや強い・強い 病状・その他特記事項	胎産制度の利用: 無・有	
妊娠に ついて の問題 点	無・有( 1. 望まぬ妊娠 2. 妊娠回数5回以上 3. 十代の妊娠 4. その他( ) ) 前回までの妊娠での特記事項 (抑うつ状態、愛着不全等)		
背景 要因	1. 生育歴の問題( ) 2. 知的問題 3. 精神疾患 4. アルコール、薬物等の問題 5. 性格の問題( ) 6. その他( ) 7. 不明		
	1. 生育歴の問題( ) 2. 知的問題 3. 精神疾患 4. アルコール、薬物等の問題 5. 性格の問題( ) 6. その他( ) 7. 不明		
分娩後 の状況	1. 離婚歴有 2. 連れ子有(本人、配偶者、本人・配偶者共) 3. その他( )		
児の名前	ふりがな 氏名 平成 年 月 日生 第 子 男・女		
児の 状況	出生場所: 当院・他院・助産院・自宅・( ) 在胎週数: ( )週( )日 体重( )g 胎児仮死: 無・有(アプガースコア-1分後) その他の合併症: 無・有( ) 入院期間: 平成 年 月 日～平成 年 月 日、保育器収容日数( )日 退院時体重( )g 治療が必要な病気があった場合の診断名: 退院時の児の問題点: 無・有( ) フォローアップが必要な場合の医療機関: 当院・転院(医療機関名: ) その他特記事項:		
次回の当院受診予定日 (平成 年 月 日)			
市町村への依頼事項: (情報提供の目的・理由)			
訪問時期: 至急・次回受診日までに			
この連絡票の内容に関する問い合わせ先 担当者氏名 (職種) TEL			

\* 本書は、妊産婦について支援が必要と思われた時点で対象者が居住する市町村にお出しください。

\* 妊娠歴の( )内は(妊娠回数-中絶・流産の回数-分娩回数-健在な子どもの数)の順です。

## 診療情報提供書

(ハイリスク妊産婦連絡票)

市町村長 殿

平成 年 月 日

医療機関名

住 所

Tel

Fax

科、主治医

印

今後の支援をお願いします。本書の送付については本人の了解を得ております。

患者 (妊産婦) の 氏名	ふりがな 氏名 年 月 日生 歳 職業 ( ) 初産・経産 妊娠歴 ( - - - ) * 初診日 平成 年 月 日 初診日の妊娠週数 ( 週) 単胎・多胎 分娩予定日 (平成 年 月 日) 既婚・未婚	家族 構 成 ( 養 育 環 境 )  (同居家族についての家系図 分かる範囲で) 夫 (氏名: 年齢: 職業: ) 育児の協力者: 無・有 ( )  助産制度の利用: 無・有
住所 退院先 居場所	Tel : (里帰り出産等の場合の連絡先) Tel :	
傷病名	(疑いを含む)	
入退院日	入院日:平成 年 月 日 退院(予定日):平成 年 月 日	
病状・ 妊娠中 の状況 既往歴 治療歴	合併症:無・有 ( ) 妊娠中の異常:無・有 ( ) 定期健診の受診状況:定期受診・不定期・受診せず 分娩への不安:普通・やや強い・強い 病状・その他特記事項	

背景要因	本	1. 生育歴の問題 ( ) 2. 知的問題 3. 精神疾患 4. アルコール、薬物等の問題 5. 性格の問題 ( ) 6. その他 ( ) 7. 不明
	他	1. 生育歴の問題 ( ) 2. 知的問題 3. 精神疾患 4. アルコール、薬物等の問題 5. 性格の問題 ( ) 6. その他 ( ) 7. 不明
		1. 離婚歴有 2. 連れ子有 (本人、配偶者、本人・配偶者共) 3. その他 ( )
分娩後の状況		1. 抑うつ状態 2. 誰からも祝福や協力のない分娩 3. 子どもを触らない 4. 授乳拒否 5. その他 ( )
児の名前	ふりがな 氏 名	平成 年 月 日生 第 子 男・女
児の状況	出生場所：当院・他院・助産院・自宅・ ( ) 在胎週数： ( )週 ( )日 体重 ( )g 胎児仮死：無・有 (アプガースコア-1分後 ( ) ) その他の合併症：無・有 ( ) 入院期間：平成 年 月 日～平成 年 月 日、保育器収容日数 ( )日 退院時体重 ( )g 治療が必要な病気があった場合の診断名： 退院時の児の問題点： 無・有 ( ) フォローアップが必要な場合の医療機関： 当院・転院 (医療機関名： ) その他特記事項：	
次回の当院受診予定日 (平成 年 月 日)		
市町村への依頼事項： (情報提供の目的・理由)		
訪問時期：至急・次回受診日まで		
この連絡票の内容に関する問い合わせ先 担当者氏名 (職種) TEL		

・本書は、妊産婦について支援が必要と思われた時点で対象者が居住する市町村にお出しく下さい。  
 \*妊娠歴の ( ) 内は (妊娠回数—中絶・流産の回数—分娩回数—健在な子どもの数) の順です。

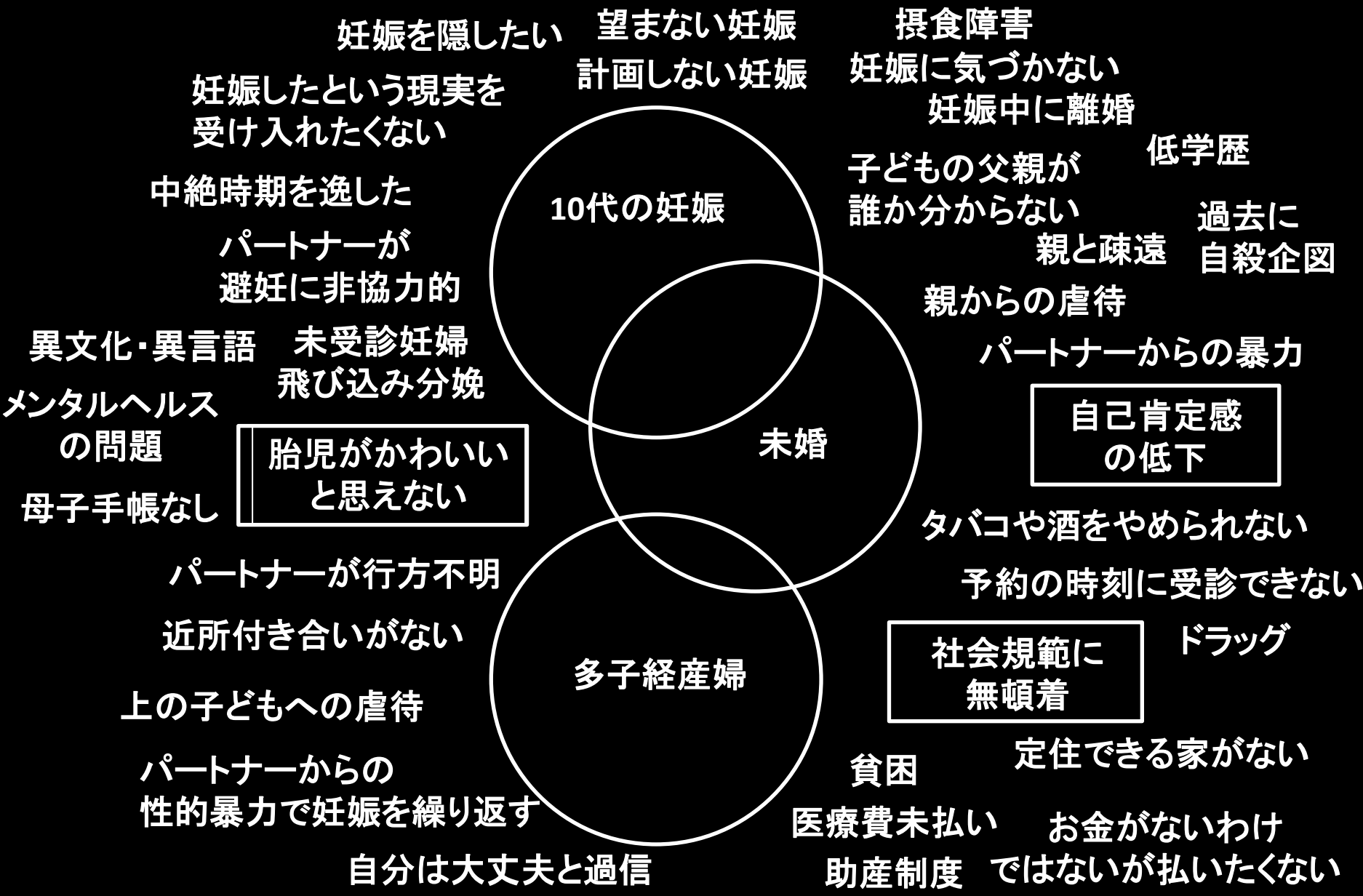
# 岡山県産婦人科医会 2011年開始 妊娠中からの気になる母子支援 連絡票

連絡票の使用(有・無)		⑨精神科的支援が必要 ⑩その他( )	〇〇師長まで
1	妊娠 週	①妊婦健診が少ない ②飛び込み分娩 ③DV被害 ④気分の落ち込み ⑤胎児・新生児への愛着が弱い ⑥医療費の未払い ⑦子どもへの虐待 ⑧妊婦・新生児の疾患 ⑨精神科的支援が必要 ⑩その他( )	あり・なし 居住地の市町村 [ ] 連絡 [ ]
	分娩後 日		
	ハイリスク妊産婦 連絡票の使用(有・無)		
2	妊娠 週	①妊婦 ④気分 ⑥医療 ⑨精神	居住地の市町村 [ ]
	分娩後 日		
	ハイリスク妊産婦 連絡票の使用(有・無)		
3	妊娠 週	①妊婦 ④気分 ⑥医療 ⑨精神	居住地の市町村 [ ]
	分娩後 日		
	ハイリスク妊産婦 連絡票の使用(有・無)		
4	妊娠 週	①妊婦 ④気分 ⑥医療費の未払い ⑦子どもへの虐待 ⑧妊婦・新生児の疾患 ⑨精神科的支援が必要 ⑩その他( )	連絡 [ ]
	分娩後 日		
	ハイリスク妊産婦 連絡票の使用(有・無)		
5	妊娠 週	①妊婦健診が少ない ②飛び込み分娩 ③DV被害 ④気分の落ち込み ⑤胎児・新生児への愛着が弱い ⑥医療費の未払い ⑦子どもへの虐待 ⑧妊婦・新生児の疾患 ⑨精神科的支援が必要 ⑩その他( )	あり・なし 居住地の市町村 [ ] 連絡 [ ]
	分娩後 日		
	ハイリスク妊産婦 連絡票の使用(有・無)		

**個人情報に含まれない  
簡単(〇をつけるだけ)**

追加分は、同じ用紙をご使用ください。パンフレットをご希望の場合はご連絡ください、お送りいたします。

連絡事項 (緊急時の連絡時は、いつまでに連絡を希望するかについてもお書きください。)



**社会的ハイリスク妊産婦の背景**



日本産婦人科医会岡山県支部 宛て 086-272-9703 obsgyn@po.okayama.med.or.jp

妊娠中からの気になる母子支援 連絡票 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月分報告

その1, 2, 3

ご施設名 \_\_\_\_\_  
お名前 \_\_\_\_\_

岡山県の**母子保健の向上, 虐待予防**のため, 産科スタッフが気づいたハイリスク母子の全数調査を行っております.  
ご協力をお願いします.

**緊急時は、いつでも、1例でもお送りください。 毎月10日までに前月分をご連絡ください。**

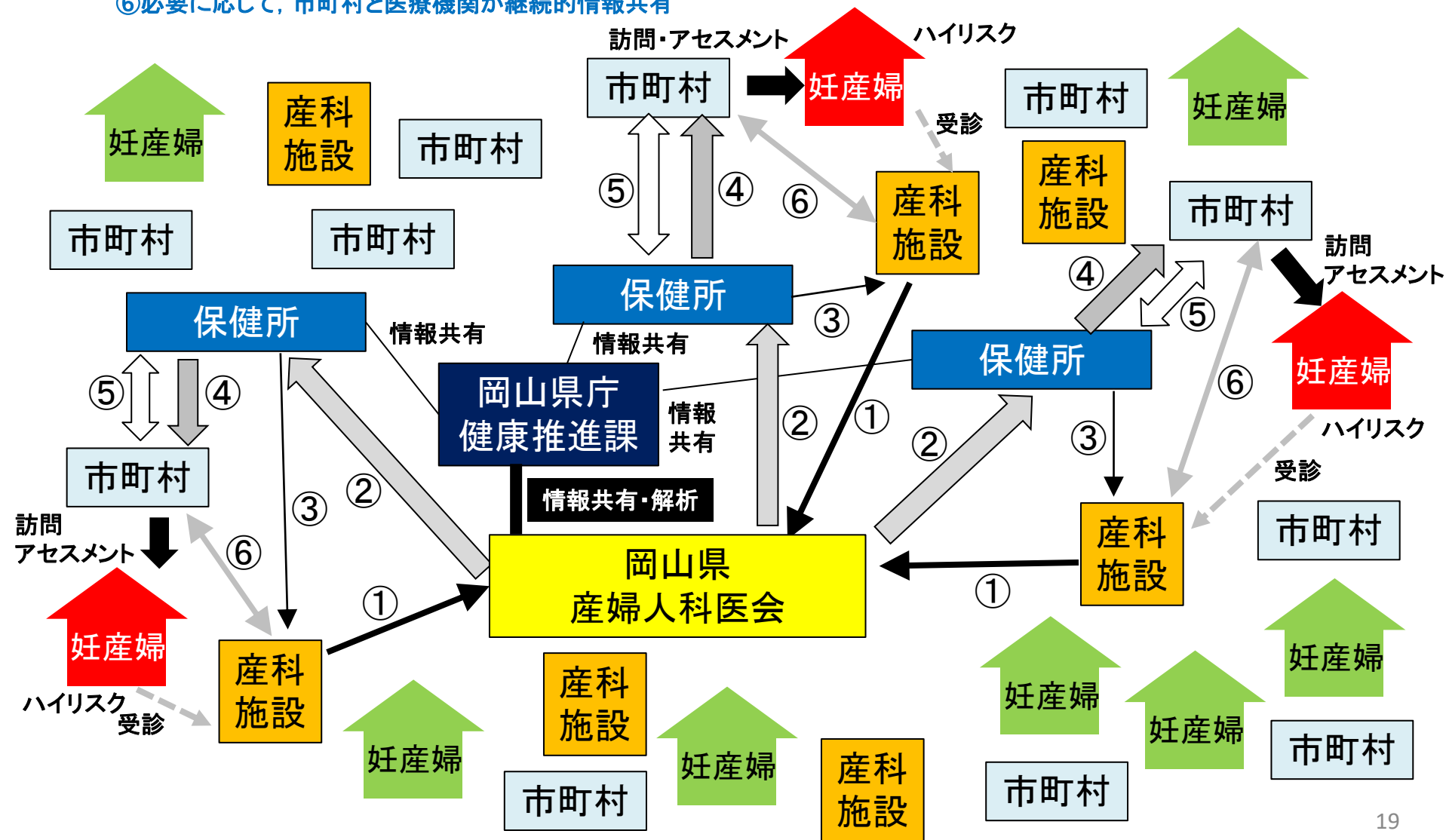
	気づいた時期		リスクの種類 (いくつでも○を)	ご本人の情報提供への同意 (支援の希望)
	時期	妊娠週数 分娩後日数		
例	妊娠 分娩後	37 週 (不正確)日	①妊婦健診が少ない ②飛び込み分娩 ③DV 被害 ④周囲の支援不足 ⑤胎児・新生児への愛着が弱い ⑥医療費の未払い ⑦子どもへの虐待 ⑧母体の疾患 ⑨新生児の疾患 ⑩精神科的支援が必要 ⑪10代の妊娠 ⑫未婚 ⑬外国人 ⑭その他 ( )	ご本人の同意 あり・なし 居住地の市町村 { ○○市 x x町 } スタッフへの連絡法 { △～△時に ○○師長まで }
1	妊娠 分娩後	週 日	①妊婦健診が少ない ②飛び込み分娩 ③DV 被害 ④夫・家族の支援不足 ⑤胎児・新生児への愛着が弱い ⑥医療費の未払い ⑦子どもへの虐待 ⑧母体の疾患 ⑨新生児の疾患 ⑩精神科的支援が必要 ⑪10代の妊娠 ⑫未婚 ⑬外国人 ⑭その他 ( )	ご本人の同意 あり・なし 居住地の市町村 { } スタッフへの連絡法 { }
	妊娠	週	①妊婦健診が少ない ②飛び込み分娩 ③DV 被害	ご本人の同意

## 連絡理由・背景

- ①望まない妊娠
- ②妊婦健診が少ない(約\_\_\_回)
- ③飛び込み分娩
- ④DV被害(疑)
- ⑤夫・家族の支援不足
- ⑥胎児・新生児への愛着が弱い
- ⑦医療費の未払い
- ⑧子どもへの虐待(疑)
- ⑨母体の疾患
- ⑩新生児の疾患
- ⑪精神科的支援が必要
- ⑫10代の妊娠
- ⑬未婚
- ⑭外国人
- ⑮助産制度
- ⑯母子手帳なし(\_\_\_\_週までなし)
- ⑰その他( )

# 岡山モデル「妊娠中からの気になる連絡票」運用の流れ

- ①産科医療施設スタッフは気になる妊産婦の「リスク」を選択し、岡山県産婦人科医会事務局へFAX送付
- ②産婦人科医会事務局は「同意あり」及び「同意なし」のうち「虐待」「DV」の場合は妊産婦の居住地の保健所にFAX送付
- ③保健所は産科医療施設に電話連絡、妊産婦を特定し状況を把握
- ④保健所は市町村へ妊産婦の情報提供
- ⑤随時相談・支援
- ⑥必要に応じて、市町村と医療機関が継続的情報共有



# 妊産婦メンタルヘルスマニュアル

～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～

改訂版



公益社団法人 日本産婦人科医会

令和3年4月

# 妊産婦メンタルヘルスマニュアル

～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～

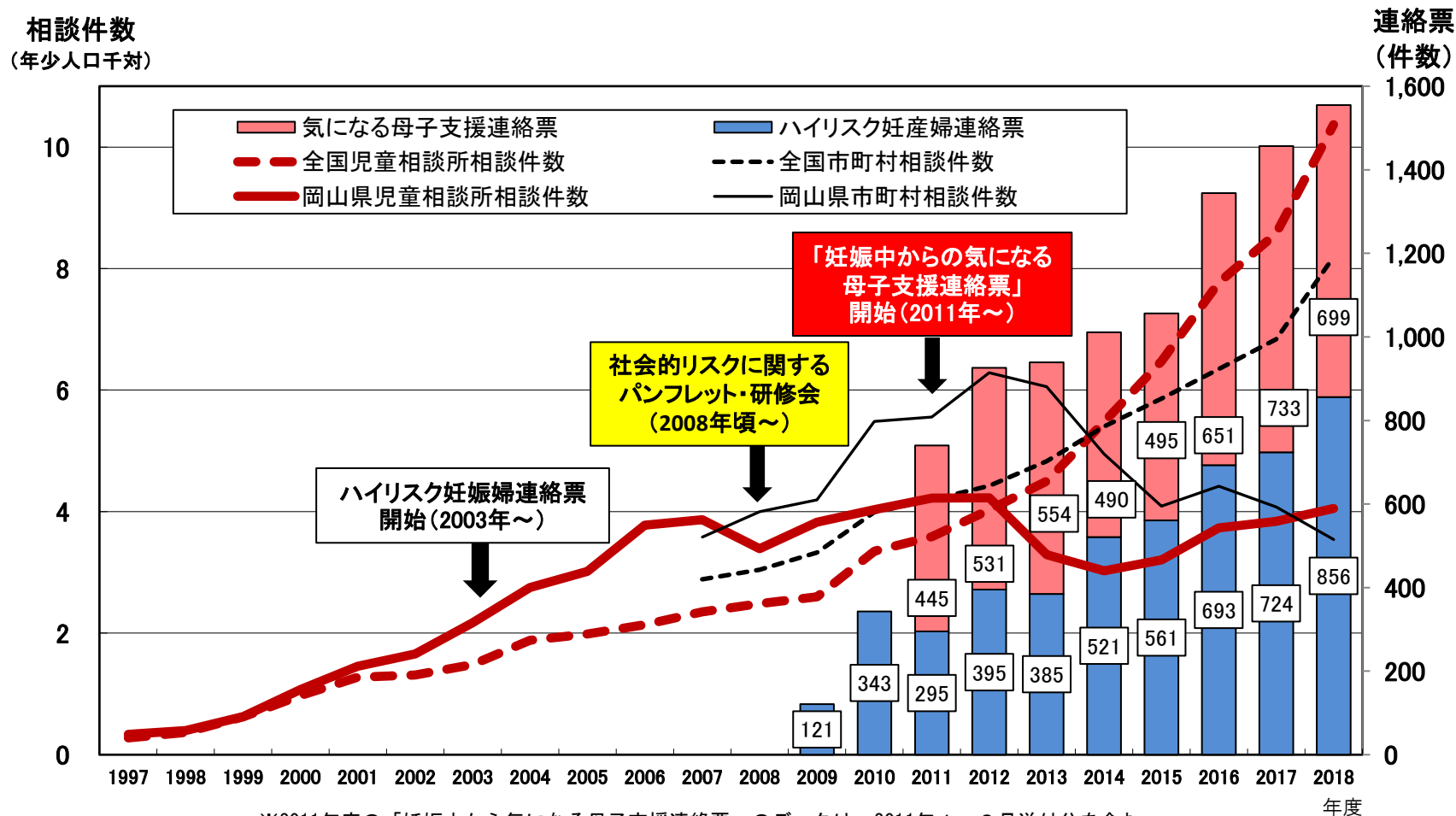
編集 公益社団法人 日本産婦人科医会



妊産婦メンタルヘルスマニュアル  
産後ケアへの切れ目のない支援に向けて  
(日本産婦人科医会, 2021)

# 「妊娠中からの気になる母子支援」 連絡システムの効果は？

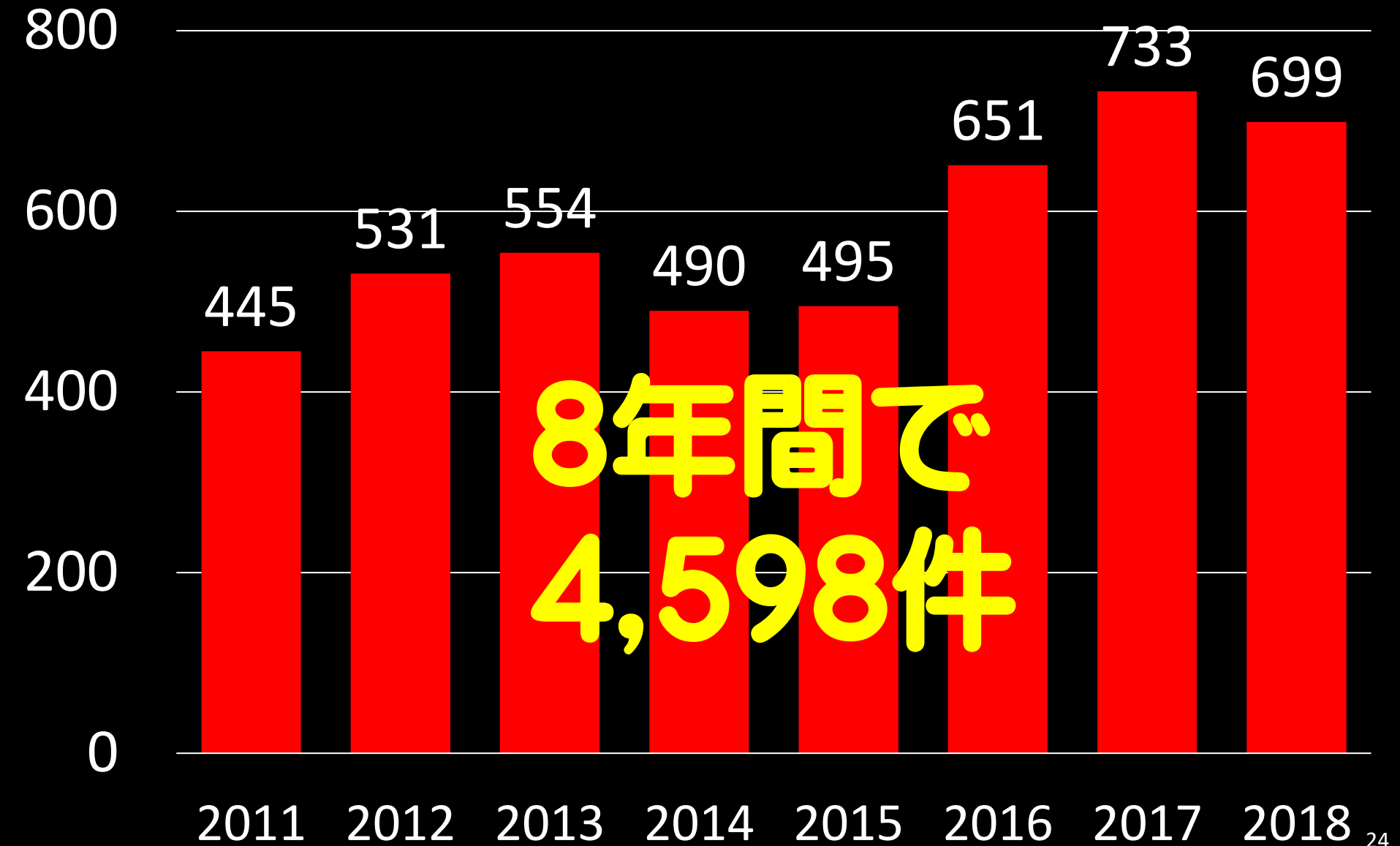
# 岡山県における連絡票での連絡件数と児童相談所・市町村児童虐待相談件数の推移





**「妊娠中からの気になる  
母子支援」連絡システムの分析  
2011～2018年の年次推移**

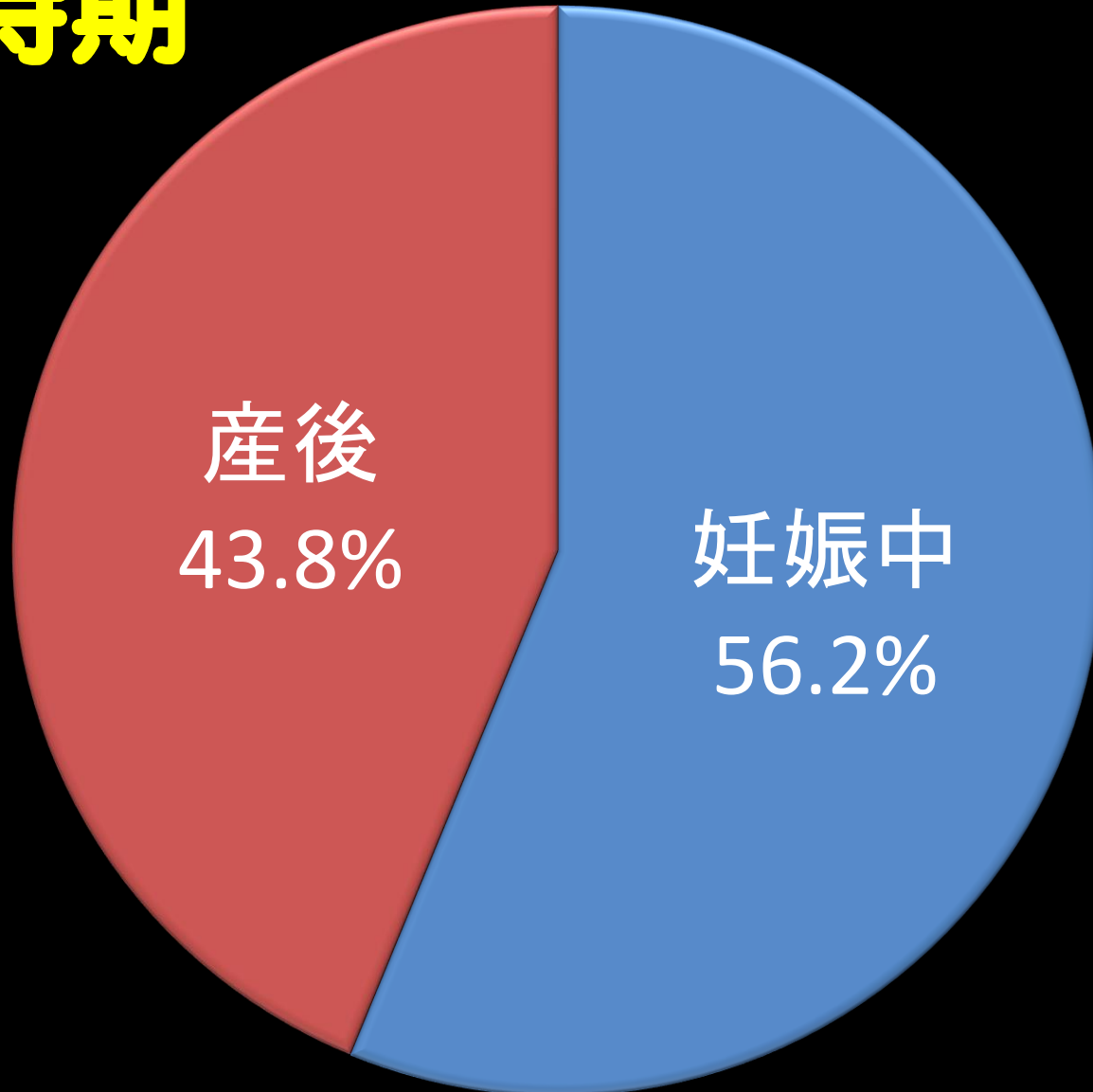
# 「妊娠中からの気になる母子支援」連絡票 連絡件数





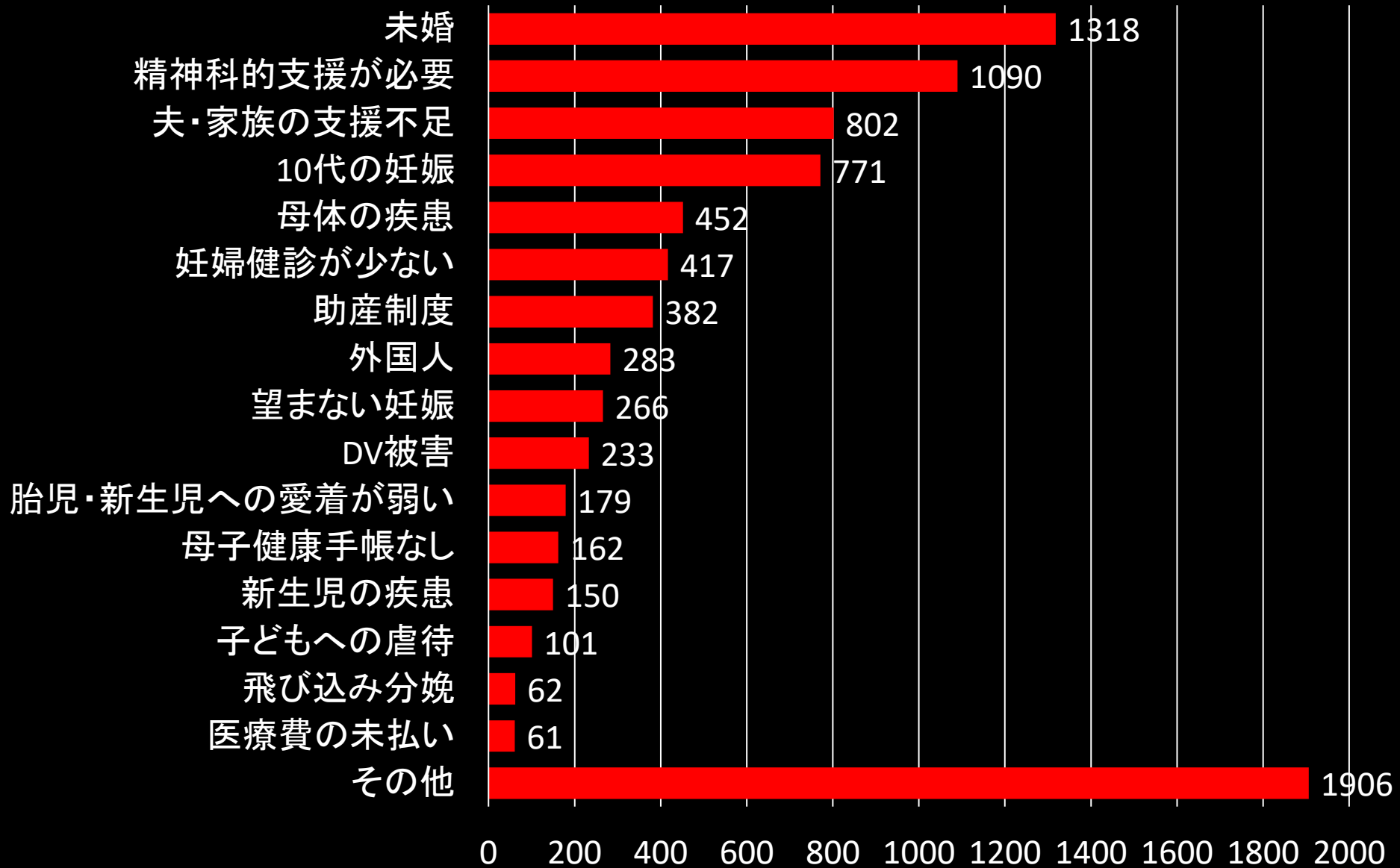
# 「妊娠中からの気になる母子支援」連絡票

## 連絡時期

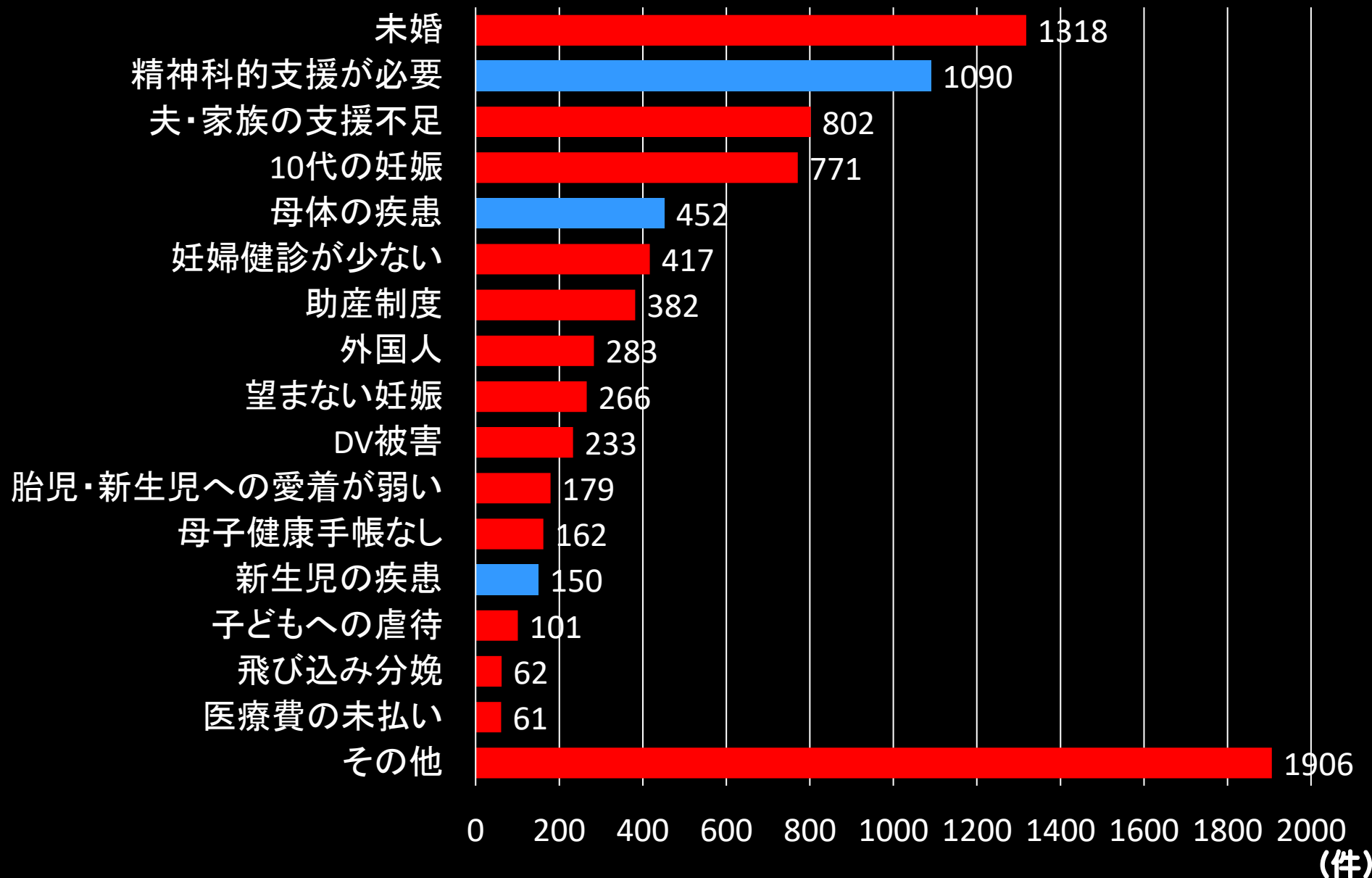


# 連絡された事例 の背景

# 「妊娠中からの気になる母子支援」連絡票 連絡内容



# 「妊娠中からの気になる母子支援」連絡票 連絡内容



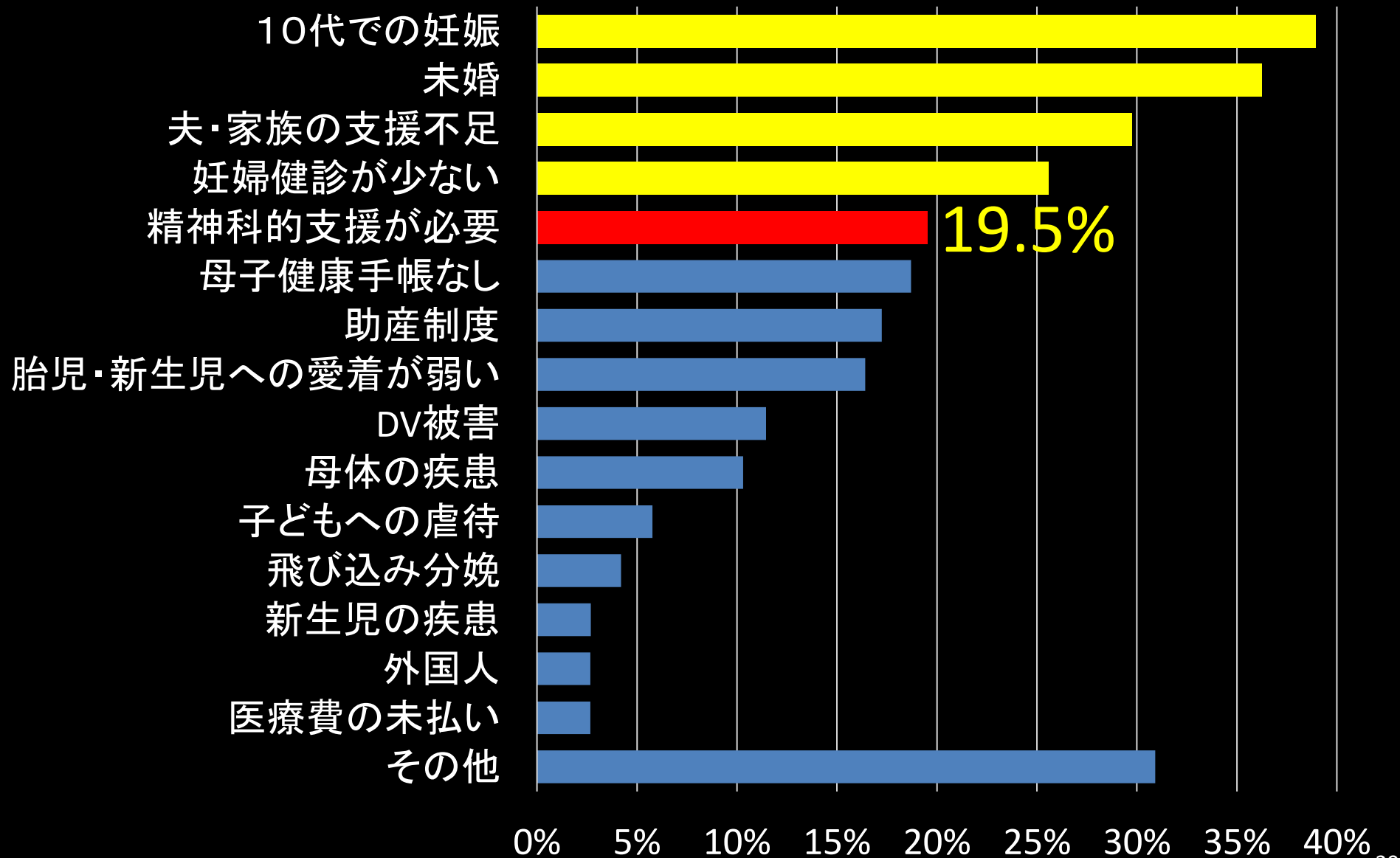
(件)

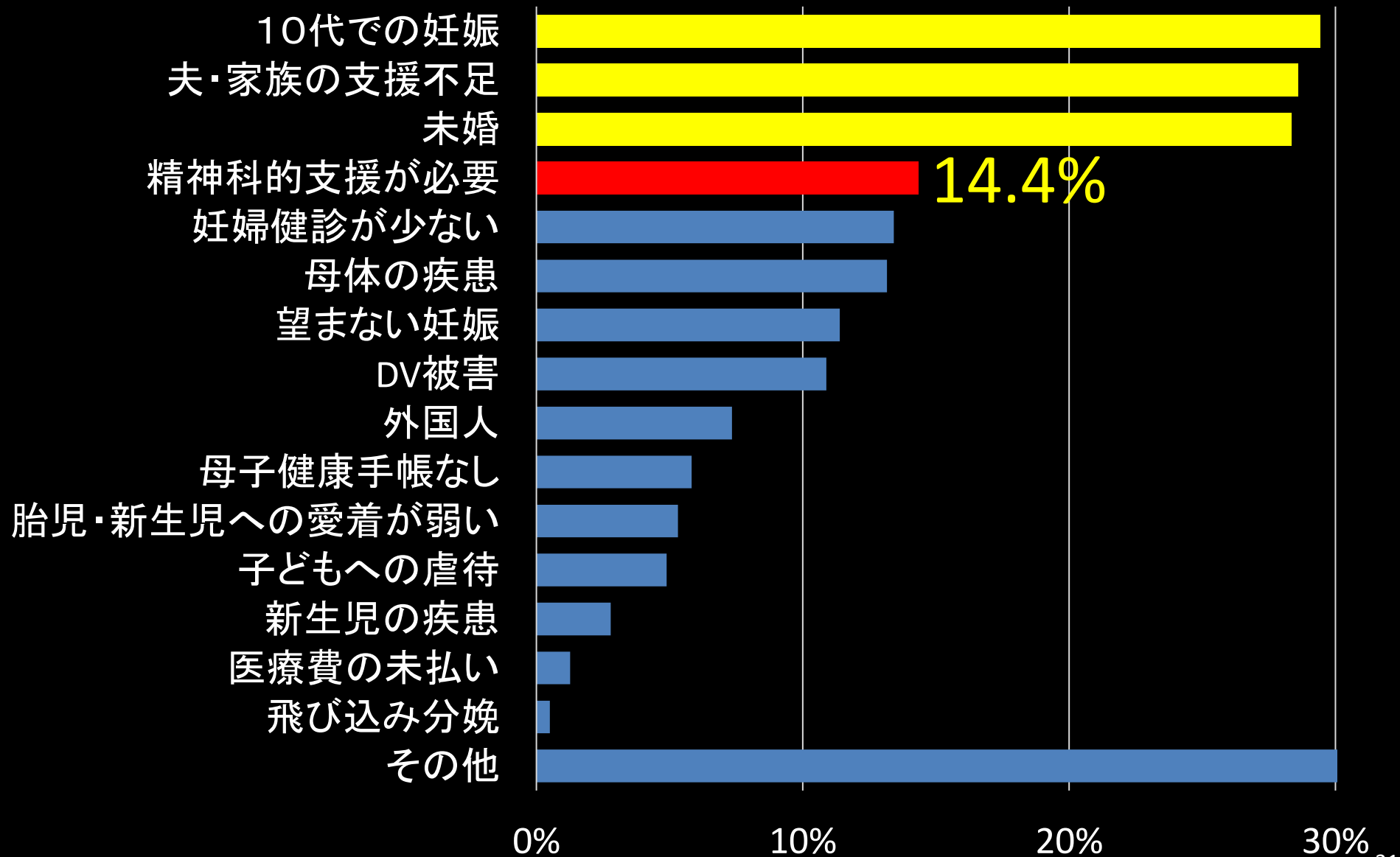
# リスク別に見た メンタルヘルスケアが 必要な妊産婦の比率

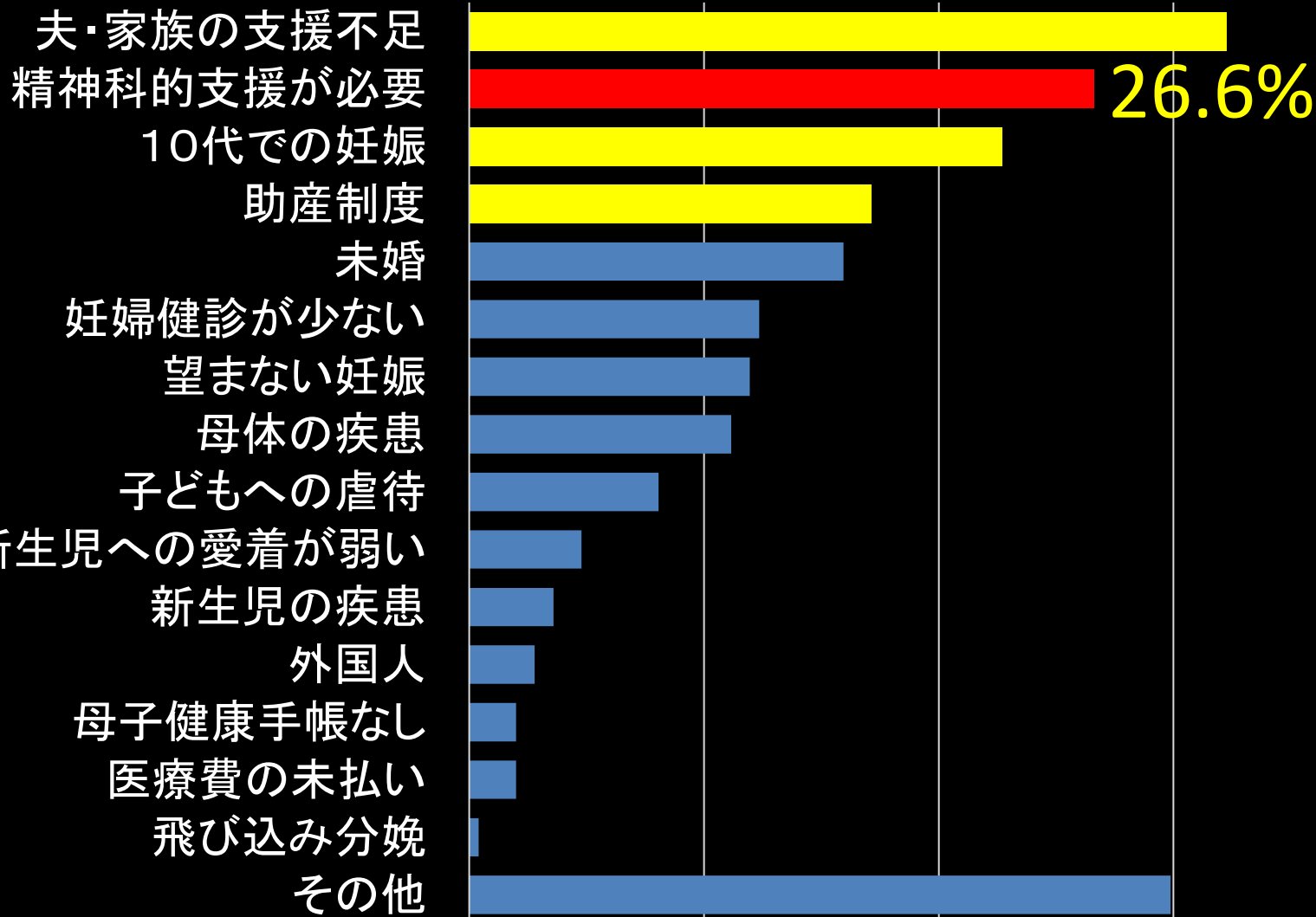


# 予期しない(望まない)妊娠

# 連絡内容







0%

10%

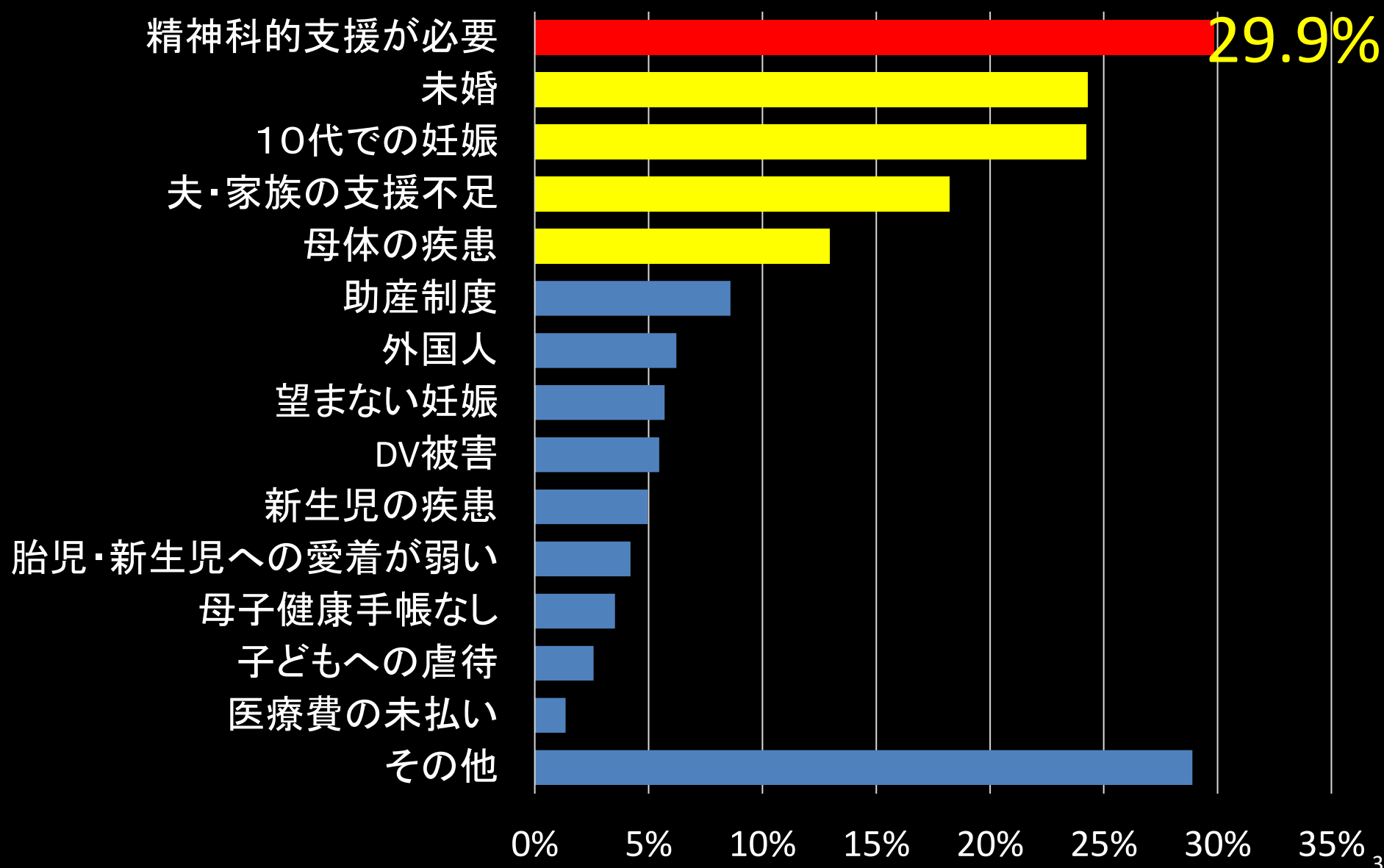
20%

30%

40%

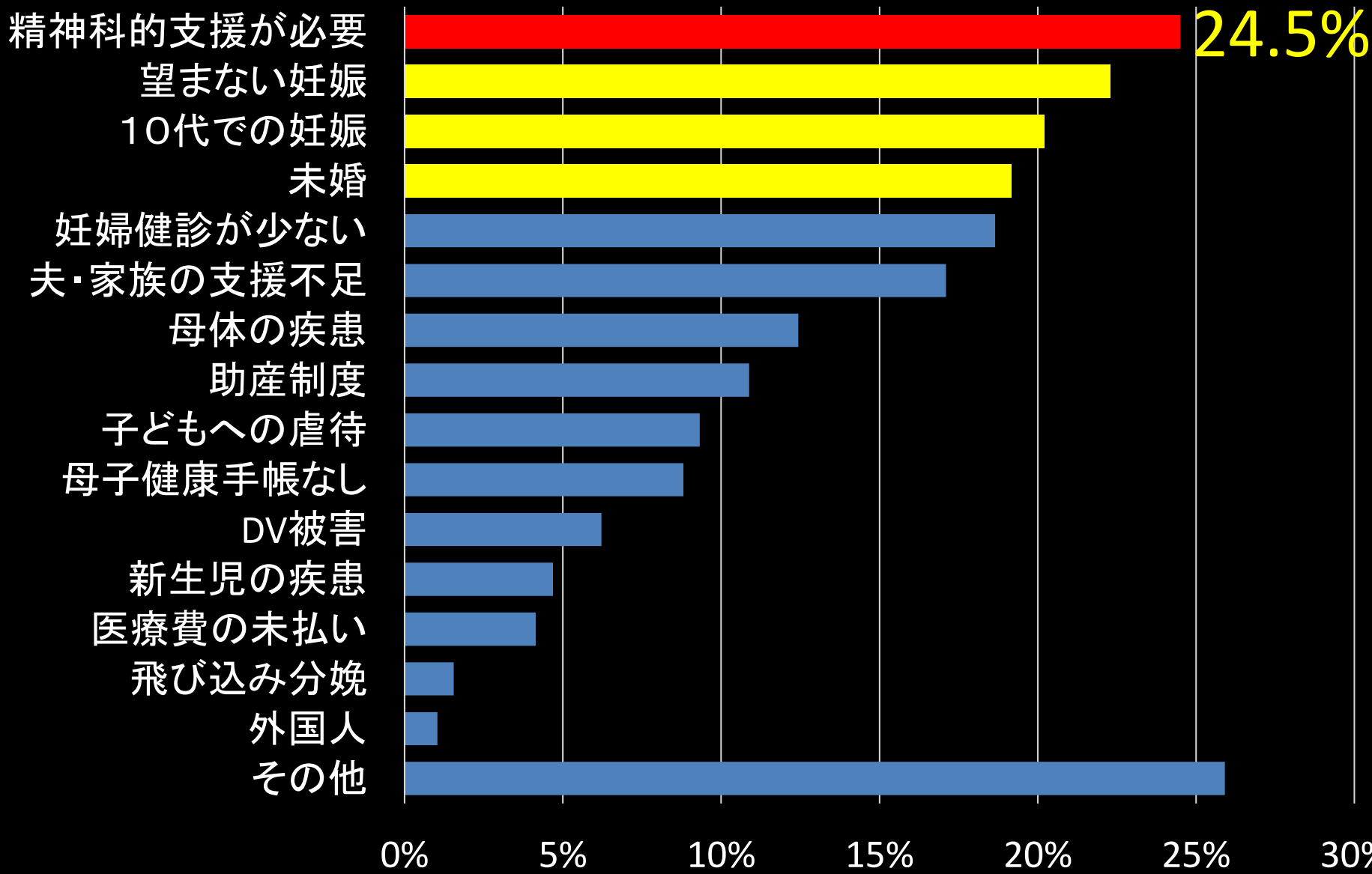


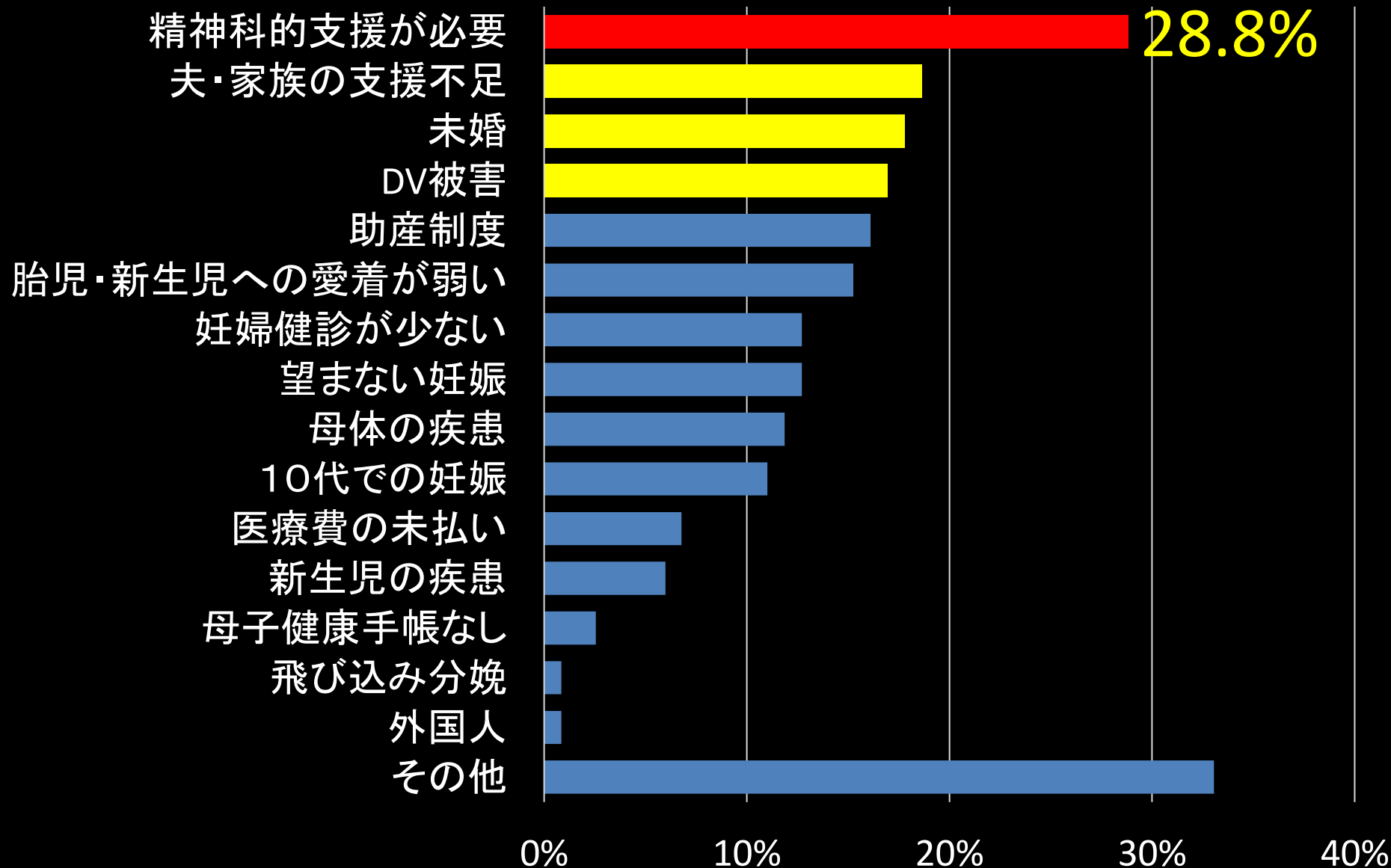
# 妊婦健診回数が少ない妊婦・飛び込み分娩 連絡内容




# 胎児・新生児への愛着が弱い

# 連絡内容





A woman with long dark hair, wearing a white t-shirt and dark pants, is seen from behind, holding a baby in her arms. She stands in a field of tall green grass. The background is a bright blue sky with scattered white clouds. The overall scene is peaceful and natural.

# 「妊娠中からの気になる母子支援」 連絡システム

メンタルヘルスの視点を強化

# 「妊娠中からの気になる母子支援」連絡票

## 2018年11月 改訂版

2018年11月1日改訂

FAX・メール

岡山県産婦人科医会 宛て 086-250-2383 obsgyn@camel.plala.or.jp

改訂版:妊娠中からの気になる母子支援 連絡票 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 連絡

ご施設名 \_\_\_\_\_  
ご担当者 \_\_\_\_\_  
連絡先 TEL/FAX \_\_\_\_\_

岡山県の母子保健の向上、虐待予防のため、産科スタッフが気づいたハイリスク母子の全数調査を行っております。ご協力をお願いします。

その都度、1例ごと、お送りください(ハイリスク妊産婦連絡票(診療情報提供書)使用時にも同時に連絡を下さい)。前月に1例もなかった場合は、毎月10日までに、「前月なし」に○をつけてお送りください。(前月なし)

**アセスメント** 全例、必ず、①～⑤から1つ選び○を、緊急性等についても○をお付けください。

- ①産科スタッフのみで支援する・・・(緊急性(あり・なし))
  - ②産科スタッフが中心に支援するが保健師などの支援も必要・・・(緊急性(あり・なし))
  - ③保健師などが中心の支援が必要・・・(緊急性(あり・なし))
  - ④精神科受診・保健師などの支援が必要・・・(緊急性(あり・なし))
  - ⑤その他 { \_\_\_\_\_ } ・・・(緊急性(あり・なし))
- 精神科への紹介 ⇒ (未・済) ⇒ 紹介済みの場合 (緊急の紹介・通常の紹介)

★緊急連絡希望時(保健師に「退院までに連絡を取りたい」等)

\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日\_\_\_\_\_時ごろまでに連絡を希望

ご希望の連絡先 担当者 \_\_\_\_\_ (不在時には \_\_\_\_\_ まで) 電話番号 \_\_\_\_\_

(もし、保健師等からの連絡がない場合には、岡山県産婦人科医会(086-250-2383)まで、再度FAXをください。)

リスク因子 (いくつでも○を)	
<b>FAX送信時</b> 妊娠 _____ 週 産後 _____ 日  <b>本人の情報提供への同意 (支援の希望)</b> (あり・なし) <b>ハイリスク妊産婦連絡票 (診療情報提供書)の送付</b> (あり・なし) <b>低体重児・ハイリスク新生児診療情報提供書の送付</b> (あり・なし)  <b>居住地(町名まで)</b> _____ 市 _____ 町  <b>既往妊娠・産後の保健師等の介入</b> (あり・なし・不明) 「あり」の場合、 _____ 年 _____ 月頃	<b>背景因子</b> ①望まない妊娠(予期しない妊娠) ②10代の妊娠 ③未婚 ④高齢妊娠(40歳以上) ⑤不妊症治療あり ⑥不育症治療あり ⑦死産の既往 ⑧身体的疾患 ⑨精神科疾患(既往を含む) ⑩コミュニケーションがとりにくい ⑪外国人 ⑫既往妊娠・産後に問題あり(虐待・DV・うつなど) ⑬パートナーからのDV(疑) ⑭夫・家族の支援不足 ⑮極度の潔癖症 ⑯身近な人の大きな病気や死  <b>妊娠期リスク因子</b> ①母子手帳(親子手帳)なし( _____ 週までなし) ②妊婦健診が少ない(現在まで _____ 回) ③上の子へのネグレクト・虐待(疑) ④胎児の異常(出生前診断(あり・なし) ⑤胎児への愛着が弱い ⑥妊娠中に精神支援が必要(実施していれば、妊娠 _____ 週のEPDS _____ 点) ⑦医療費の未払い ⑧喫煙・アルコールがやめられない  <b>出産時・産後リスク因子</b> ①飛び込み分娩 ②助産制度 ③母体合併症(具体的に _____ ) ④産後の精神支援が必要(産後 _____ 日のEPDS _____ 点) ⑤多胎 ⑥新生児の疾患 ⑦胎児・新生児への愛着が弱い ⑧生まれた子どもへのネグレクト・虐待(疑)  <b>その他、気になること</b>

連絡欄( \_\_\_\_\_ )

FAX・メール

岡山県産婦人科医会 宛て 086-250-2383 obsgyn@camel.plala.or.jp

改訂版：妊娠中からの気になる母子支援 連絡票 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 連絡

ご施設名 \_\_\_\_\_

ご担当者 \_\_\_\_\_

連絡先 TEL/FAX \_\_\_\_\_

岡山県の**母子保健の向上, 虐待予防**のため, 産科スタッフが気づいたハイリスク母子の全数調査を行っております。  
ご協力をお願いします。

その都度, 1例ごと, お送りください(ハイリスク妊産婦連絡票(診療情報提供書)使用時にも同時に連絡を下さい)。

前月に1例もなかった場合は, 毎月10日までに, 「前月なし」に○をつけてお送りください。 (前月なし)

**アセスメント** 全例, 必ず, ①~⑤から1つ選び○を, 緊急性等についても○をお付けください。

①産科スタッフのみで支援する . . . . . (緊急性 (あり・なし))

②産科スタッフが中心に支援するが保健師などの支援も必要 . . . . . (緊急性 (あり・なし))

③保健師などが中心の支援が必要 . . . . . (緊急性 (あり・なし))

④精神科受診・保健師などの支援が必要 . . . . . (緊急性 (あり・なし))

精神科への紹介 ⇒ (未・済) ⇒ 紹介済みの場合 (緊急の紹介・通常の見介)

⑤その他 { } . . . (緊急性 (あり・なし))

★緊急連絡希望時 (保健師に「退院までに連絡を取りたい」等)

\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日\_\_\_\_\_時ごろまでに連絡を希望

ご希望の連絡先 担当者 \_\_\_\_\_ (不在時には \_\_\_\_\_ まで) 電話番号 \_\_\_\_\_

(もし, 保健師等からの連絡がない場合には, 岡山県産婦人科医会(086-250-2383)まで, 再度 FAX をください。)

リスク因子 (いくつでも○を)

FAX 送信時

非リスク因子

- ⑬パートナーからのDV（疑） ⑭夫・家族の支援不足 ⑮極度の潔癖症  
⑯身近な人の大きな病気や死

### 妊娠期リスク因子

- ①母子手帳（親子手帳）なし（\_\_\_\_\_週までなし）  
②妊婦健診が少ない（現在まで\_\_\_\_\_回） ③上の子へのネグレクト・虐待（疑）  
④胎児の異常（出生前診断（あり・なし） ⑤胎児への愛着が弱い  
⑥妊娠中に精神支援が必要（実施していれば，妊娠\_\_\_\_\_週の EPDS \_\_\_\_\_点）  
⑦医療費の未払い ⑧喫煙・アルコールがやめられない

### 出産時・産後リスク因子

- ①飛び込み分娩 ②助産制度  
③母体合併症（具体的に\_\_\_\_\_）  
④産後の精神支援が必要（産後\_\_\_\_\_日の EPDS \_\_\_\_\_点）  
⑤多胎 ⑥新生児の疾患 ⑦胎児・新生児への愛着が弱い  
⑧生まれた子どもへのネグレクト・虐待（疑）

### その他, 気になること

# 妊産婦のメンタルケア

岡山県内精神科等協力施設一覧

(2019年4月現在)



2018年度 岡山県  
「気づく」「つなぐ」「支え合う」  
子ども虐待防止事業  
岡山大学大学院保健学研究科  
おかやま妊娠・出産サポートセンター  
「妊娠・安心相談室」



# 岡山県精神科医療センター

診療科名:精神科

受付時間:(月~金) 8:30~17:15

※緊急時対応(救急受入等)

休診日:土・日・祝日・年末年始

緊急時対応(救急受入等)

緊急受け入れ:○

入院受け入れ:○

1週間以内の予約:○

通常予約:○

理事長:中島 豊爾

院長:来住 由樹

担当者:地域連携室

ホームページ:<http://www.popmc.jp/>

緊急  
受け入れ  
OK

入院  
受け入れ  
OK

1週間  
以内の  
予約可

通常  
予約

〒700-0915 岡山市北区鹿田本町3-16

TEL:086-225-3821



# おかやま妊娠・出産サポートセンター 妊娠・安心相談室

開所日時:

(月・火・水・金) 9:00~12:00 (火曜日はオープン日)

※相談には個別で対応しております。来所相談は原則として予約制です。電話かメールでご予約ください。

※火曜日(オープン日)は予約での相談は行っておりませんが、書籍・資料の閲覧等が可能です。

休所日: 日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

ホームページ:

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ninshin/>

体のこと、心のこと、お金のこと...いろいろな悩みをお一人で抱えていらっしゃるいませんか? スタッフがあなたの気持ちに寄り添って、一緒に考えていきます。必要に応じたアドバイスだけでなく、行政サービスや窓口の紹介もいたします。

また、妊娠・出産だけでなく、子育てや思春期のお悩みも相談をお受けしています。相談無料。一人で悩まないで、ご相談ください。(匿名OK。秘密厳守。)

※「おかやま妊娠・出産サポートセンター」は岡山県からの委託を受け、岡山大学大学院保健学研究科が運営しています。

〒700-8558

岡山市北区鹿田町2-5-1岡山大学病院中央診療棟4階

TEL : 086-263-7899

メール: [ninshin@okayama-u.ac.jp](mailto:ninshin@okayama-u.ac.jp)



相談には個室で対応いたします。来所相談は原則として予約制です。電話かメールでご予約ください。(火曜日は相談室オープン日のため、自由に入室いただけます。)



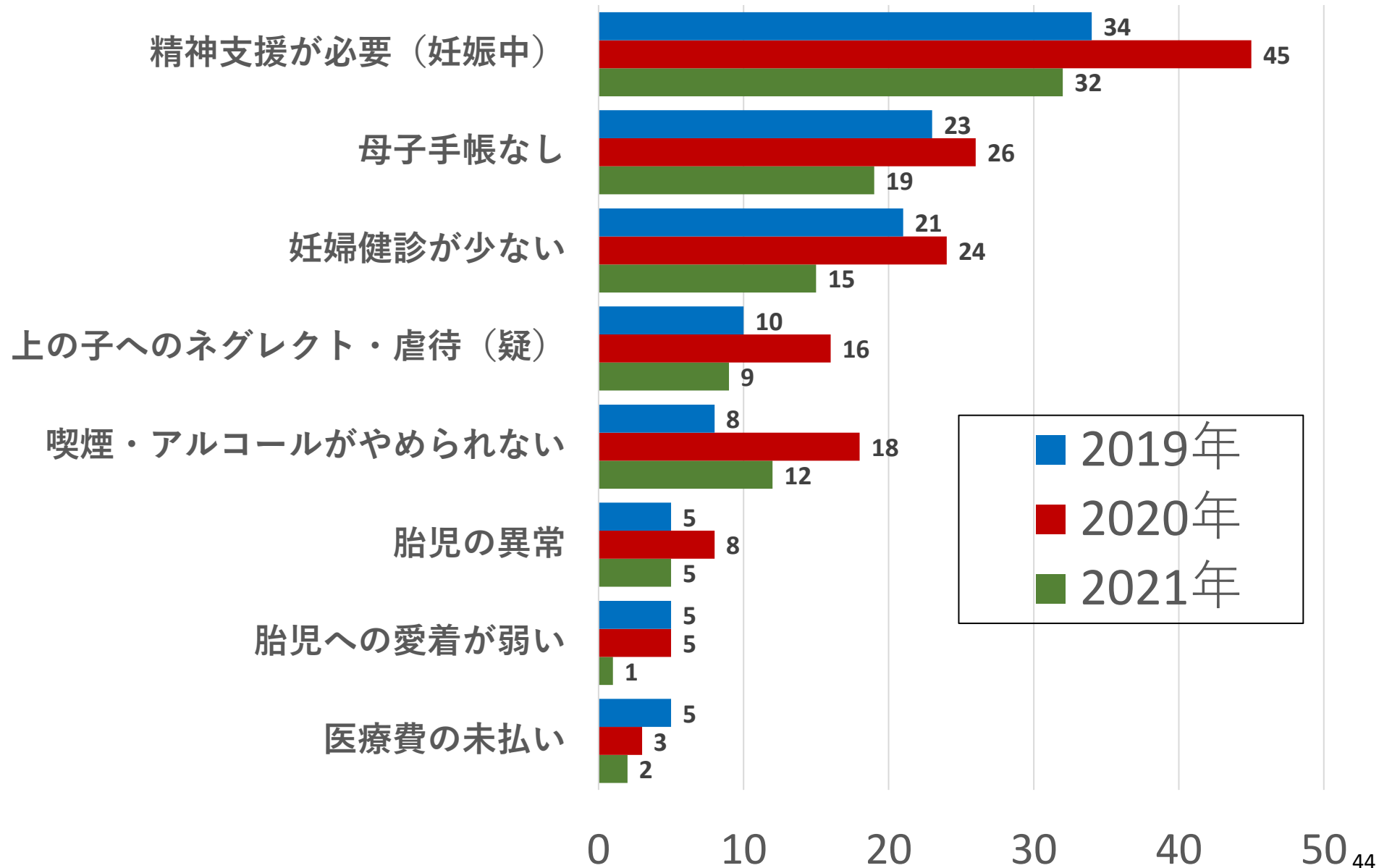
新型コロナウイルス感染症  
(COVID-19)

# Withコロナ時代の 妊産婦・子育て支援

病名はCOVID-19  
ウイルス名はSARS-CoV-2

(写真＝米国立アレルギー・感染症研究所)

# 「妊娠中からの気になる母子支援」連絡票から見た 2020-2021年の変化（妊娠中のリスク因子）



全国の「都道府県等における妊婦の方々への  
新型コロナウイルスに関する相談窓口」への調査 報告書

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う 妊産婦や母親の不安と支援の実態



2021年3月  
おかやま妊娠・出産サポートセンター(岡山県)  
岡山大学大学院保健学研究科

# 全国の「都道府県等における妊婦の方々への新型コロナウイルスに関する相談窓口」への調査報告書

『新型コロナウイルス感染拡大に伴う妊産婦や母親の不安と支援の実態』

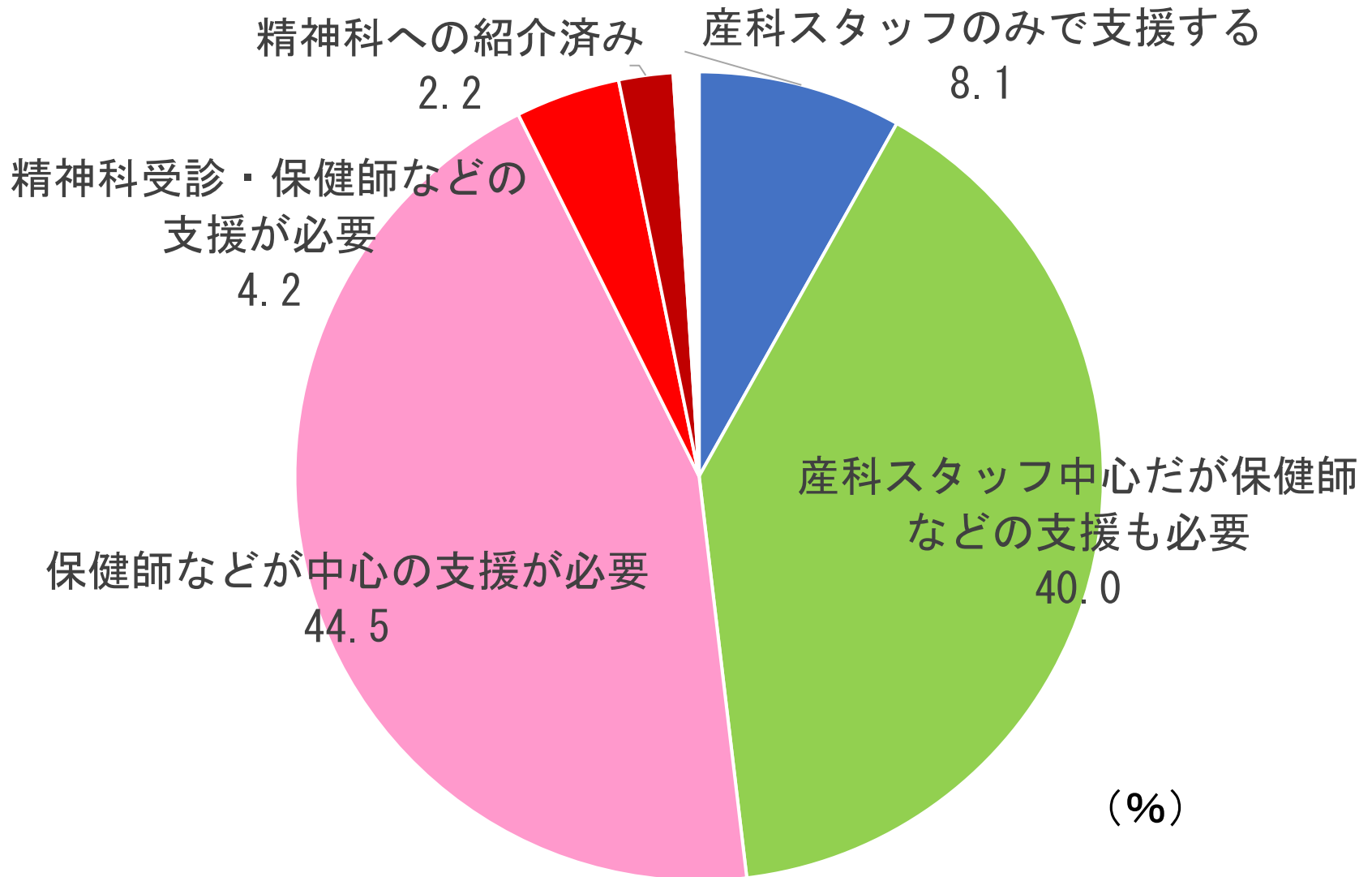
中塚研究室HP

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

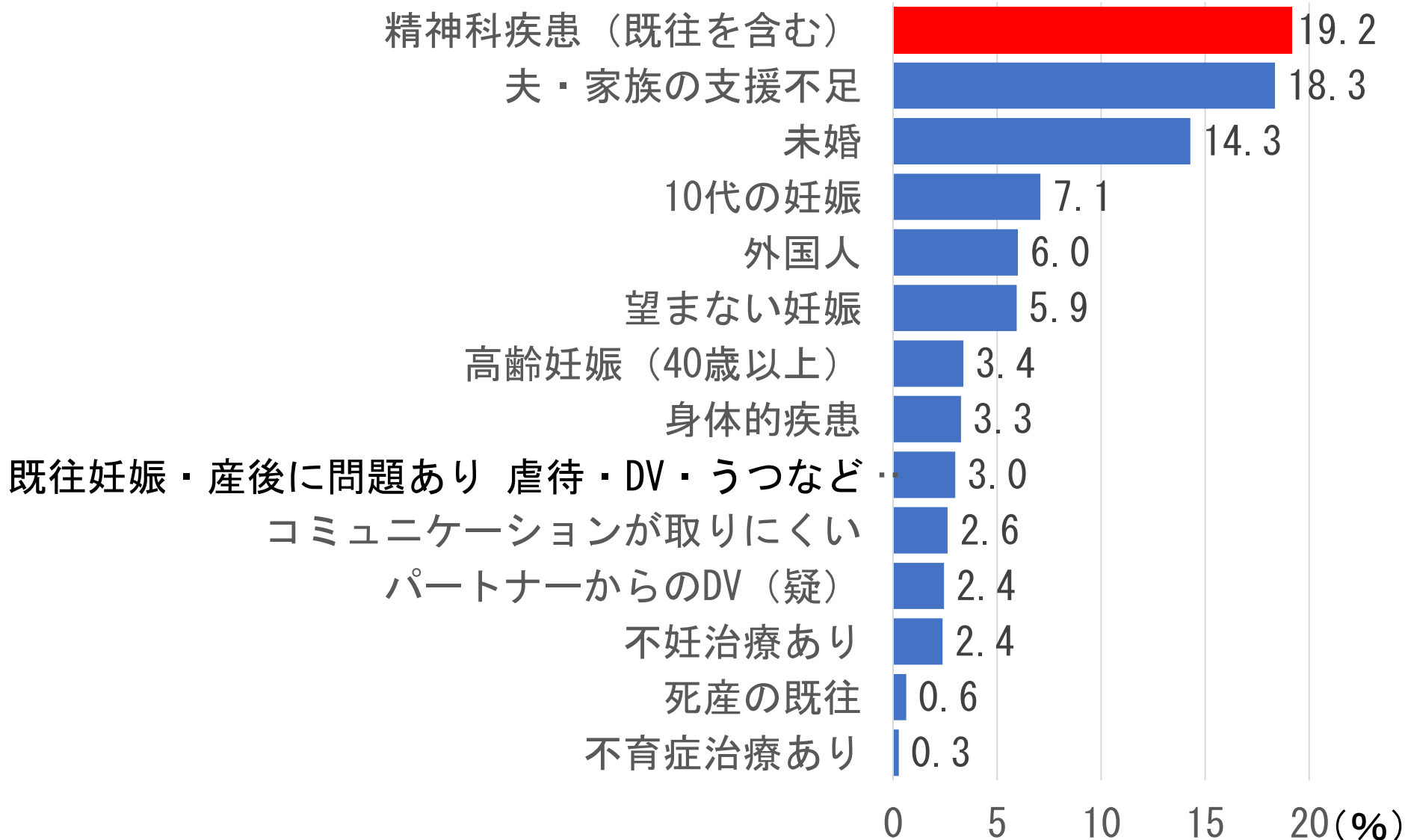


**「妊娠中からの気になる  
母子支援」連絡システムの分析  
2019～2022年(3319例)**

# 産科スタッフにおけるアセスメント (2019-2022年, 全体3319例)

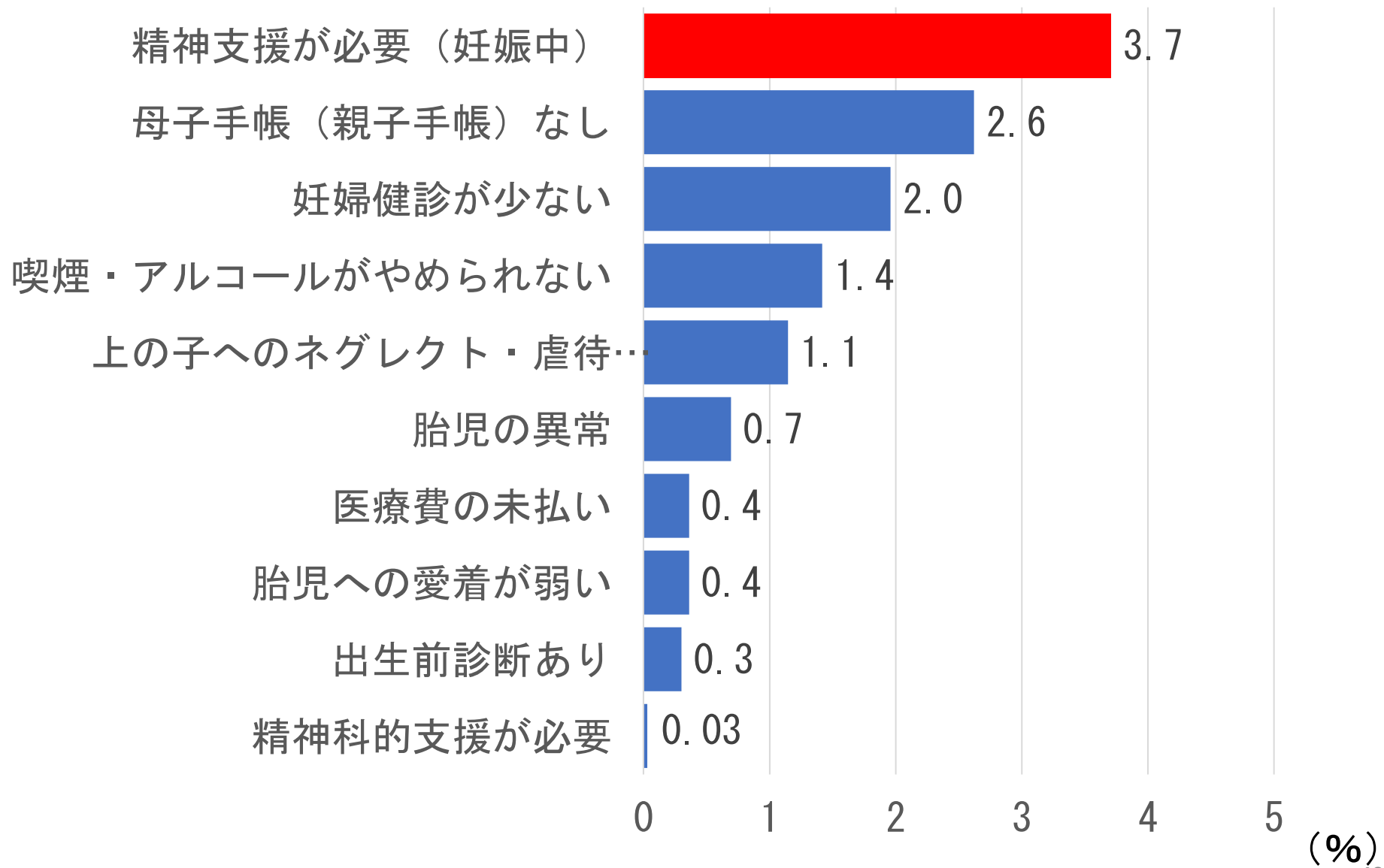


# リスク因子(背景因子) (2019-2022年, 全体3319例)

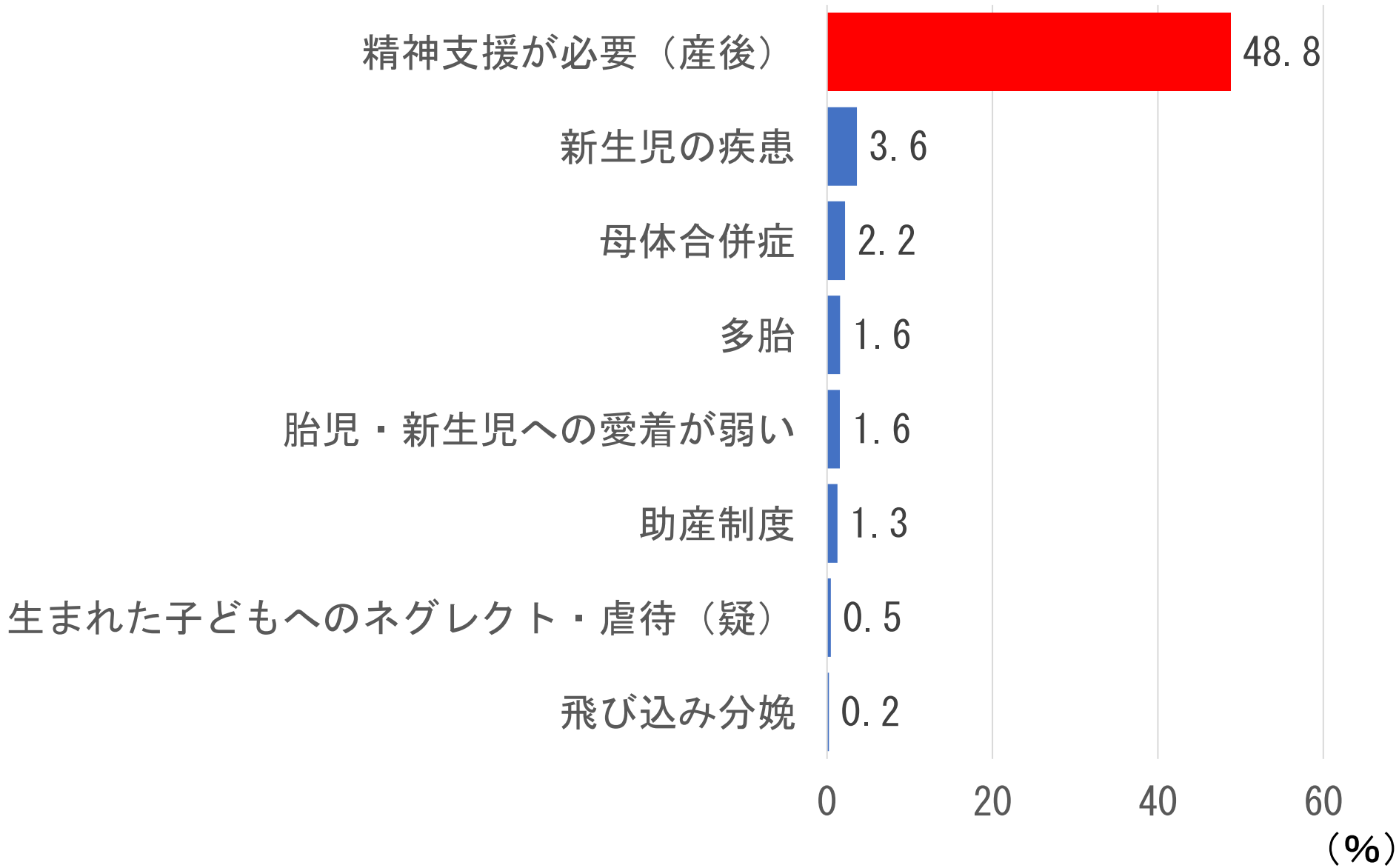




# リスク因子(妊娠期) (2019-2022年, 全体3319例)



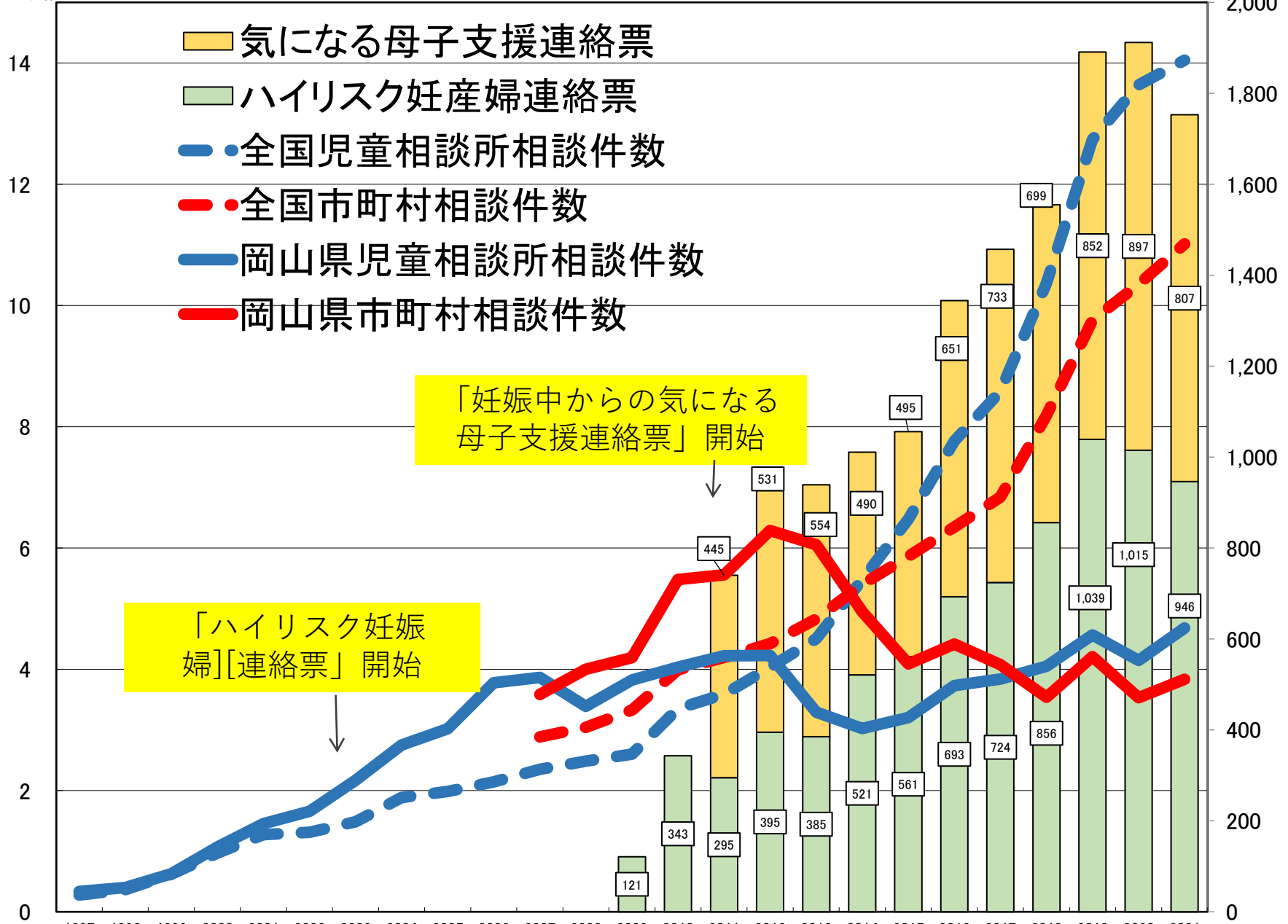
# リスク因子(出産時・産後の因子) (2019-2022年, 全体3319例)



# 児童相談所児童虐待相談と岡山県妊産婦連絡票等母子支援の状況

相談件数  
(年少人口千対)

連絡票  
(件数)  
2,000



「ハイリスク妊産婦」[連絡票] 開始

「妊娠中からの気になる母子支援連絡票」 開始

**多職種連携での対応のために  
共通認識は？**

# 定期的な研修会

岡山大学大学院保健学研究科・おかやま妊娠・出産サポートセンター・岡山県・岡山県産婦人科医会

## 社会的ハイリスク妊産婦と 多職種連携による支援

2022年10月7日(金)

14:00~16:50

Zoom オンラインセミナー

Zoomで開催 スマホでもPCでも  
Padでも参加可能

要事前申込(締切:10月6日15時まで)  
右上の二次元コード読み取りもしくは  
メール([josan@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:josan@cc.okayama-u.ac.jp))  
で参加をお申し込みください。Zoomの  
使い方の説明・当日の招待をお送りします。



14:00~14:30 あいさつ

社会的ハイリスク妊産婦の背景因子  
「岡山モデル」のデータから

岡山大学学術研究院保健学域 岡山県産婦人科医会  
おかやま妊娠・出産サポートセンター

中塚幹也

14:30~15:00 岡山での検討

多子産と若年妊娠から見た問題

岡山市立市民病院 産婦人科 根津優子

発達障害合併妊娠の検討

岡山市立市民病院 産婦人科 徳毛敬三

15:00~15:15

社会的ハイリスク妊産婦への支援と連携  
(メール相談を通して)

おかやま妊娠・出産サポートセンター「妊娠・安心相談室」  
栗田真美(保健師)

15:30~16:45 グループワーク

社会的ハイリスク妊産婦のケースから  
多職種連携による支援を考える

16:45~16:50 あいさつ

アドバンス助産師の更新申請の  
選択研修として利用できます  
(参加証明書を発行いたします)



リプロ  
カフェ

岡山大学「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム  
岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1  
Phone & Fax:086-235-6538  
E-mail:[josan@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:josan@cc.okayama-u.ac.jp)  
助産ネットURL:<http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>

## モデル症例3

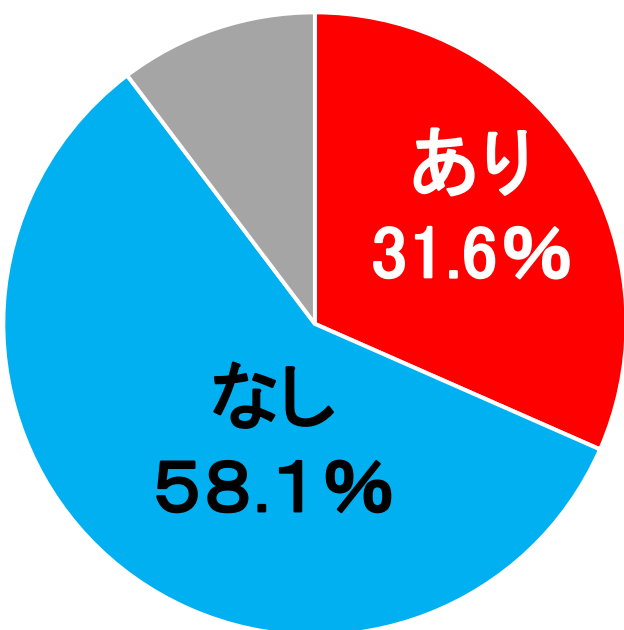
# 精神疾患既往がある高齢初産婦

**36歳初産婦**，5年前から**うつ病**の治療をしていた．結婚後は治療を中止し，3か月で妊娠した．

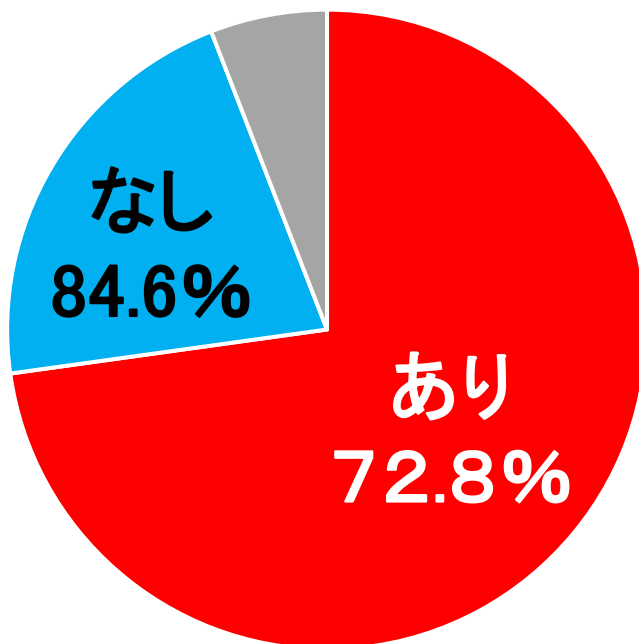
**妊娠30週**で「**すべてが不安です**」という発言があった（**EPDS: 15点**）．不眠時のみ産科で処方された睡眠導入剤を内服している．

# モデル症例3 緊急に対応する必要性はあるか

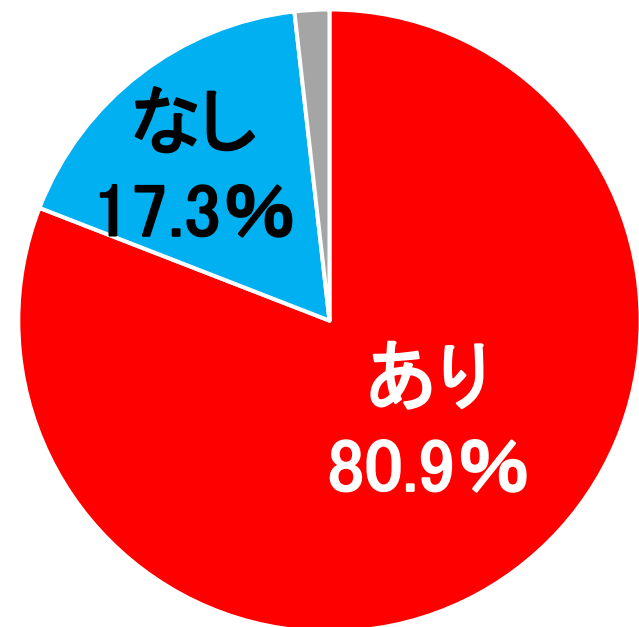
精神科・心療内科  
スタッフ  
(N=234)



産科スタッフ  
(N=338)



保健師  
(N=110)



# 「妊娠中からの母子支援」 即戦力育成プログラム

岡山大学大学院保健学研究科・医学部保健学科 Since 2007

# 「妊娠中からの母子支援」 即戦力育成プログラム

学生スタッフのためのリカレント教育プログラム

Facebook  
Twitter  
Instagram  
情報発信中!  
「助産ネット」  
で検索を

2024年4月開講

ZOOM開催併用

全国からオンライン受講できます!

クリニカルラダー研修を開催  
アドバンス助産師の更新に  
必要な修了証を取得できます

新生児・子育て家族への支援

- 産前産後のメンタルヘルス
- 子育て支援への社会的資源の活用法
- 子育てグループへの参加体験
- 産後うつ、児への虐待予防、障害児家族支援のための地域連携

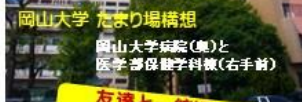
基本的なコンピューター操作  
臨床研究・プレゼンテーション能力

産科の最新知識と  
超音波検査・新生児蘇生

- 胎児計測、成長の評価とスクリーニング
- 3D超音波検査による胎児の観察と胎児への養育形成促進
- マタハラ、産後クライシス、DV
- 新生児の蘇生の知識と技術
- 社会的ハイリスク妊産婦a

「学ぼう! 妊娠・子育てプロジェクト」

助産師・保健師・子育てスタッフ・学生などが  
ぶらりと立ち寄り、垣根を越えて楽しく学ぶ場



岡山大学 なまり場構想  
岡山大学病院(東)と  
医学部保健学科棟(右手前)

不妊症や流死産女性への支援

- 不妊症、不育症に関する医学的知識
- 不妊症、不育症カップルに対する支援能力
- 死産を乗り越えるためのグループケア
- 生命・生殖に関する倫理観の形成
- 「年齢と妊孕性」啓発の講義養成

助産師・看護師が総合的な  
実践能力を獲得する1年間の  
リカレントプログラム

年間約30回の集中セミナーや  
グループワーク  
e-ラーニングでの学習や  
休日・夜間を利用した演習・実習

使い放題

スキルアップ・ラボ

超音波シミュレーション、蘇生モデル  
e-ラーニング・コンテンツ  
24時間、いつでも、どこでもスマホで学習

リブコカフェ

専門書を含め4,000冊の書籍とDVD  
カフェでゆっくりとネットや読書  
修了後も継続して、ご使用可能です。

友達と一緒に  
キャンパスライフ

- ◆募集定員 15名程度 ※応募者多数の場合は選考。
- ◆募集期間 2023年11月20日(月)~2024年1月19日(金)
- ◆募集要項 ホームページからダウンロード、あるいは、教務グループ担当(裏面)より入手可



2023年度プログラム実施中  
(詳しくはWEB上でご覧ください)

岡山大学大学院保健学研究科  
詳しい情報は、助産ネット ホームページで



